

東京外国語大学

国際社会学部の歩き方 2023



東京外国語大学



国際社会学部の歩き方

2023 年度入学生版

目 次

1. 国際社会学部へようこそ！（国際社会学部長 千葉敏之）	2
2. 国際社会学部の 4 年間	3
3. 履修にあたっての注意点と履修モデル	7
4. 学内活動紹介	10
5. 学生によるゼミ案内	12
6. 学部賞受賞者紹介	18
7. 卒業後の進路	20
8. 学生生活で困ったら	23
9. 国際社会学部教員一覧	32
10. よくある質問コーナー	35

『国際社会学部の歩き方』は、東京外国語大学国際社会学部の新入生を主な対象として、授業の履修の仕方や大学での学び方を知るためのガイドブックとして作成しています。

1. 国際社会学部へようこそ！（国際社会学部長 千葉敏之）

本学国際社会学部へのご入学、おめでとうございます。いよいよ東京外国語大学での大学生活がスタートします。期待に胸を膨らませる皆さんも、まる一日をかけての履修ガイダンスを終える頃には、新しい生活、小・中・高までとはまるで違う〈大学生活〉自体に戸惑いを覚えているかもしれません。『履修案内』を読んでも、壇上から諸先生の説明を聞いても、なかなか自分の生活と結びつかない。そんな皆さんにもっと確かな〈道順〉を提供するのが、この小冊子、通称『歩き方』です。『履修案内』にある堅めの説明が、学生・教員の〈生きた声 viva voce〉を助け船に、うまく消化できるよう、噛み砕いて解説されています。



大学を無事卒業するには125単位が必要なことはわかる。講義は1学期15回（AL2回含めて！）で2単位、でもドイツ語やアラビア語の授業は1単位。これを毎年着実に積み上げていけば、単位は集まる…。大学での勉強、いや学問は自由なのだから、何を取っても良いはず。でも、学年ごとに絶対に取らなくてはならない必修科目がたくさんある。専攻語の授業はクラスも時限も決まっています、変えられない。反対に、導入科目や世界教養科目は比較的自由に選択できる。じゃあ、いったい何を選択したら良いだろう？

ここまで考えが進んだら、『歩き方』の出番です。将来何になりたいか、夢がはっきりしている人もそうでない人も、まずは各ページにある本学卒業生・在学生の生の声に耳を傾けてみましょう。そのうえで、力作の「コース別履修モデル」へ。長期留学を考えている人、短期留学をしながら4年間で卒業しようと考えている人、実際に先輩たちが辿った道であるからこそ、リアルです。イメージが固まってきたら、最初のページに立ち返って、ページの順に進めてください。

全く別のアプローチもありえます。いま何が勉強したいか、必修科目や必要な単位の取得のことは考慮しつつも、いま学びたいことを純粋に学びたい。そんな人は、本学部の先生たちの専門について調べてみましょう。高校と違い、大学の教員はみな研究者です。研究講義棟には世界を様々な手法で研究する、実に多様な専門家の研究室が犇めいています。扉を開けば（アポは取ってね）、部屋の設えや書棚に並ぶ書籍の背表紙に、研究者の人となりを感じることができでしょう。そして、世界を読み解き、未来を提言しうる学問分野がどれだけあるのか、その圧巻の全体像に迫ることが大切です。既製品でなく、自分で考えてオーダーメイドできる学びの豊かさこそが本学の個性。そのためにはまず、研究者たる教員の専門や人柄をよ〜く知ることが一番です。そのうちの一人が、皆さんの運命を左右する（？）ゼミの指導教員になるのですから（☞「学生によるゼミ案内」）。

東京外国語大学には、他の大学にはない唯一無二の個性があります。本学150年の歴史のなかで数々の学生と教職員が踏み締めてきた伝統です。それは、外語祭での料理店や語劇、サークル活動や部活動、こうした学生どうしの間柄が親密であること（☞「学内活動」）。そして、学生どうしだけでなく、1年次から卒業まで続く教員と学生の距離も、その息遣いが伝わるほどに近いことです。一方で本学は、一匹狼として孤高に、学問、文学、課外活動に没頭する学生が自分らしく過ごせる場でもあります。〈大学 universitas〉が、その誕生いらい、自由な空間であるからです。

楽しい学生生活においても、物事がうまくいかない時はあります。友達にも相談できない辛さを感じたときは、「学生生活で困ったら」のページを見てください。学生どうしでは解決できない問題も、相談員の方や先生方に相談したら、うまくいくかもしれません。必要な時は立ち止まって、人の助けを借りることも大切です。そこから新しい絆が生まれて、景色が一変することがあるからです。

新型コロナがまもなく五類の感染症に位置づけられます。皆さんが高校時代に、私たちが大学の場において経験してきた特異な形態の授業は、その殆どが元の姿、つまり対面授業に戻ります。大学のキャンパスとは本来、生身の人間と人間が行き交う公共広場。巨大な円から直線が四方に伸びる府中キャンパスの平面図は、船舶に喩えるなら、さながら世界に向けて開かれた国際貿易港のよう。研究講義棟は、いわば船を建造・保守する船渠です。この場所に、数え切れない先輩たちが、言葉と知と感情をぶつけ合いながら、青春の記憶を刻んできました。皆さんも、それぞれの希望を胸に秘めつつ、先人たちの肉声が飴するこの府中の港に、鮮やかな航跡を記していただく。

2. 国際社会学部の 4 年間

国際社会学部の 13 の地域／27 の専攻言語

皆さんは入学とともに専攻する地域と言語をもちます。自らの地域と言語を大切に、大学での学びを組み立てて下さい。



入学から卒業まで

皆さんの履修する授業は「世界教養プログラム」と「専修プログラム」に分けられます。世界教養プログラムは言語文化学部、国際日本学部と共通のカリキュラムです。専修プログラムは国際社会学部独自の授業で構成されています。ここでは大まかな枠組みだけを示しますので、授業の取り方は『履修案内』をよく読んでください。

卒業までには定められた単位を修得する必要があります、これを卒業所要単位といいます。3 年次への進級のためには 2 年次の終わりまでに一定の単位を修得する必要があります、これを進級要件といいます。

卒業所要単位と進級要件は以下の表の通りです。言語科目の単位は専攻地域によって異なるので、『履修案内』で確認をしてください。専修プログラムの「導入科目」「概論科目」「専門科目」については、3 年次から所属するコースの授業の単位を一定数以上含むことが必要になります。

卒業所要単位の内訳

注：この卒業所要単位の内訳は 2019 年度以降の入学生に適用されるものです

			進級要件 単位数	卒業所要 単位数	
世界教養プログラム	言語科目	専攻言語	15 ※	36 以上※	※言語科目の履修の仕方は地域ごとで異なるので 『履修案内』等でよく確認をしてください
		諸地域言語			
		教養外国語			
		GLIP 英語科目	-		
	地域科目	地域基礎	6	6 以上	地域ごとに指定される授業があります
	基礎科目	基礎リテラシー	1	1	基礎科目は1年生のうちに履修してください
		基礎演習	2	2	
専修プログラム	教養科目	教養科目	-	16 以上	
	導入科目	導入科目	8	8 以上	所属したコースから2単位以上
		概論科目	-	6 以上	所属したコースから4単位以上
	専門科目	講義科目（専門演習）	-	24 以上	所属したコースから12単位以上
		本ゼミ	-	4	※指導教員の専門演習が本ゼミ
		卒業研究演習	-	4	
		卒業研究		-	8
	関連科目		-	0 以上	他学部・他大学の授業は関連科目の単位になります
卒業所要単位数 合計			125 以上		

コースとゼミの選択【2 年次 春学期】

2 年次の春学期終了時には、皆さんの希望にもとづいてコースとゼミが決まります。2 年生春学期の早い時点から、コースとゼミを選ぶための説明会や意向調査が始まります。コースは自分が何を専門的に学びたいかによって選択します。選択するコース・ゼミについては 1 年次から考え始めるようにしましょう。とくに導入科目、教養科目の履修に際しては、2 年次以降で専門的に学びたいことを意識して、関連の深い授業を履修するように心がけて下さい。

国際社会学部の 3 コース

■地域社会研究コース

対象とする地域の時間軸（歴史）と空間軸（地図）を柔軟な視点で捉える方法を身につけ、地域にかかわりながらそのリアルを学ぶコースです。



■現代世界論コース

哲学、政治学、ジェンダー論、レイシズム・スタディーズなどのオーソドックスかつ最先端の研究に触れながら、現代世界の諸問題を批判的に考察する方法を学ぶコースです。



■国際関係コース

社会科学の方法論を体系的に学び、法学、政治学、経済学、国際協力論などの学問分野を専門的に学修し、国際社会を生き抜く知的技術を身につけるコースです。



国際社会学部の導入科目（2023 年度）

【シラバス検索の方法】

シラバス検索画面の URL

<https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SylSearchMain.aspx>

※詳しい検索方法は『2023 年度授業時間割検索ガイドブック』を参照してください。

⇒



1、2 年生の前半では 3 コースの視座を導入科目の授業で一通り学びます。国際職業人となるための幅広い土台作りを心がけ、自分だけの学びのスタイルを作り上げましょう。

春学期・夏学期開講

科目名	授業題目	担当者	学期	曜限	授業形態
歴史社会研究入門 1	世界史を開く	小田原 琳	春学期	水 4	オンライン
地域社会研究入門 1	地域社会と SDCs	大石 高典	春学期	水 3	オンライン
政治社会論入門	政治学原論——〈共に生きること〉をめぐる倫理と政治	大川 正彦	春学期	火 4	対面
世界認識論入門	レイシズム・スタディーズ入門	梁 英聖	春学期	木 2	オンライン
世界認識論入門	文化人類学入門	真島 一郎	春学期	火 5	対面
社会関係論入門	Introduction to Gender	五十嵐 ミュゲ	春学期	水 3	オンライン
社会関係論入門	未定	岩館 豊	夏学期	集中	対面
法学入門 1	法学入門	鈴木 美弥子	春学期	金 1	オンライン
法学入門 1	Introduction to International Law	根岸 陽太	春学期	木 4	オンライン
政治学入門 1	政治分析入門	松永 泰行	春学期	火 1	対面
経済学入門 1	ミクロ経済学入門	菊地 和也	春学期	月 4	オンライン

秋学期・冬学期開講

科目名	授業題目	担当者	学期	曜限	授業形態
地域社会研究入門 2	地域研究入門	左右田 直規	秋学期	水 4	対面
歴史社会研究入門 1	現代史と映像（映画のなかの戦争）	篠原 琢	秋学期	水 5、6	対面
歴史社会研究入門 2	歴史学入門	翼 由樹子	秋学期	水 3	オンライン
政治社会論入門	政治学原論——倫理と環境正義	大川 正彦	秋学期	火 4	対面
世界認識論入門	Cultural Studies	フィゲロア	冬学期	集中	オンライン
社会関係論入門	ジェンダー論入門	竹田 恵子	秋学期	月 4	対面
法学入門 2	民法総論	鈴木 美弥子	秋学期	金 1	オンライン
政治学入門 2	政治学基礎（政治制度・政治過程）	若松 邦弘	秋学期	月 4	対面
政治学入門 3	国際政治経済学概論	藤田 将史	秋学期	木 3	オンライン
政治学入門 3	未定	小林 周	秋学期	木 5	オンライン
経済学入門 2	マクロ経済学入門	入谷 聡子	秋学期	月 4	オンライン

※ 3 コースを色分けしてあります。新型コロナウイルス感染対応などの理由により、時間割や授業形態が変更になる可能性もあります。シラバスや学務情報システムをこまめにチェックしてください。



国際社会学部で社会を学ぶ

■インターンシップ

就職活動につながるインターンシップ以外にも、広く社会や仕事を知るためのインターンシップの機会が用意されています。海外でのインターンシップの機会もあるので、積極的に参加してください。

■公務員試験対策授業

国際社会学部では、国家公務員総合職試験の受験科目区分に対応した授業がそろっています。外務省専門職、地方公務員の試験にも対応しています。

■ボランティア活動

ボランティア活動スペース VOLAS（研究講義棟 2 階 206 室）では、大学を飛び出し、さらには日本も飛び出して活動する、学生のさまざまなボランティア活動を支援しています。



Welcome Messages

木村 太一 さん
北アメリカ／英語
現代世界論コース所属予定
2 年生

フィリピンのパナイ島にあるブントク村での教室建設作業を終え、校舎の背後に広がる夕焼けに疲れを癒されている様子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
今まで努力した経験は大学でも存分に活かされる

ことと思います。東京外国語大学は、自分が触れたことない文化に触れられる機会に満ち溢れています。私は 2 年の夏休みにボランティアをするため、フィリピンに渡航しました。ホームステイをして現地の子どもたちに教室を建設するという支援を行ったのですが、食文化や生活様式が新鮮であったのはもちろん、社会問題の深い理解や他者の視点に立って考える体験をすることができました。私はボランティアをすることの 1 番の意義は視野を広げられることだと思っています。世界で起きている問題を生で見つめることは、その中に生きる自分の再認識につながり、新しい自分を発見することができます。また、自分と異なったコミュニティや文化のもとで暮らす人々と交流することによって、

他者への思いやりの心も育ちます。ボランティアをする中で、大変なこともあります。全て将来の自分に返ってくると信じて私は活動を続けています。皆さんも、もし興味があるボランティアがあったら、挑戦してみると思いがけない成長を得られるかもしれません。これからの新生活、大学生だからこそできることを意識しながら楽しんでください。





国際社会学部で世界を学ぶ

■留学

ショートビジット、派遣留学、休学留学など多様な留学の機会があります。1年生の夏学期から参加できるプログラムもあります。

■英語による授業

英語によって行われる授業は世界教養プログラムのGLIP 英語科目のほか、専修プログラムでも多く開講されています。世界中から外語大に学びにきている留学生と交流するチャンスでもあります。

■メディア翻訳

専攻言語によっては、メディアの翻訳を通して現地理解と語学力を高める授業も行われています。

Welcome Messages

相馬 佳菜子 さん
東アジア／中国語
地域社会研究コース
倉田ゼミ・3年生

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活に期待で胸をいっぱいにさせている方、漠然とした不安がある方、それぞれの想いを抱いていると思います。

私は台湾の国立台湾大学に語学留学をしました。留学中は語学の勉強だけでなく、さまざまなことに取り組みました。まず、台湾大学の「原住民族」学生との交流です。留学前に授業を通じて、台湾の原住民族が置かれている苦悩を学んでいました。実際に台湾へ赴き、当事者と交流することで、文献や

授業では得られない「生の声」に触れられました。また、台湾の地方都市である台中・台南へ旅行に行きました。日本統治時代の影響を想起させる文化や建造物を見るたびに、日本人であることが持つ歴史性を改めて考えさせられました。私は留学も大学での学びの延長線上にあると思います。大学の授業で学んだからこそ、この留学は、語学と観光ではなく、台湾社会への理解が深まるとともにその問題点を発見する学びの機会になりました。皆さんも大学生活の中で、語学以外でも自分が関心を寄せる分野に出会えるはずです。学校での授業や活動を通じて、広い視野や教養を育みながら多くのことに挑戦してほしいと思います。

台南旅行で訪れた赤崁楼で



鎌野 天衣 さん
東南アジア／ベトナム語
地域社会研究コース
菊池ゼミ・4年生（22年度卒）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

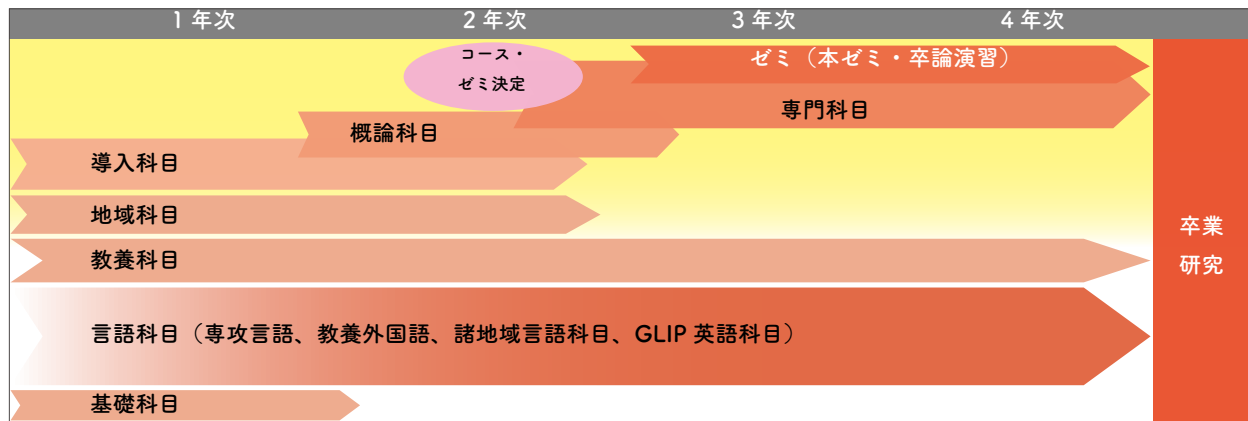
メディア翻訳の授業は、皆さんの専攻地域の言語で書かれた現地の報道機関の記事から自分の興味のある記事を選択し、翻訳する授業です。この授業の魅力は2つあります。1つ目は、専攻言語の読解力を向上させることができる点です。記事を翻訳する上では文章を正しい文法で読み、内容を正確に把握する必要があります。自分で精読し翻訳した記事は、その言語のプロの先生に添削していただけるので、正しい文法と訳を知ることができます。私は記事の精読・翻訳と添削後の復習を繰り返すことで、読解力が大幅に向上しました。2つ目は、専攻地域に関する関心と理解を深めることができる点です。メディア翻訳の授業では、政治・経済・文化など非常に多様なジャンルの記事に触れることができます。翻訳した記事から専攻地域に関する新たな情報や発見を得ることができるので、専攻地域に関する自分の関心の幅を広げたり、理解を深めたりすることに役立ちます。このように、メディア翻訳の授業は自分の専攻言語・地域にどっぷりとつかることができる魅力的な授業です。皆さんもぜひ、言語・地域の学習に活用してみてください！

1年次のベトナム語学研修の際に訪れた世界遺産ハロン湾で



3. 履修にあたっての注意点と履修モデル

4 年間の履修の流れ



■ 1、2 年次の履修計画を立てるときのポイント

1. 時間割を詰め込みすぎない！ (大学の授業は予習・復習・課題がもれなくついてくる)
2. 進級に関わる必修科目は特に注意 (専攻言語、地域基礎、基礎リテ、基礎演習は基本)
3. 導入科目はバランスよく学んでください (希望のコース・ゼミに進めるとは限らない)
4. 教養外国語は2年生から履修がおすすめ (新しい外国語を複数学ぶのはたいへんです)

■ 無事卒業するために忘れないで欲しいポイント

1. 言語科目の卒業所要単位は **36 単位** 以上です (語学は1コマ1単位。けっこう多いです)
2. 必修の GLIP 英語/教養外国語は取り方にルールがあります (本当に本当に要注意)
3. 必修の言語以外に一定数の選択必修の語学の単位を修得する必要があります
4. 導入・概論・専門科目は所属コースの科目から一定数の単位を修得する必要があります
5. 自分の入学年度の履修案内にしたがって履修してください (年度によって異なる場合あり)
6. 所要の 125 単位ピッタリで卒業しようとししないでください！ (取りこぼすと挽回不能です)

コピペもだめよ



Attention!

各授業の成績評価にかかわる「試験」は、授業内の小テスト、レポートや期末試験などさまざまな方法で行われます。そのいずれにおいても、不正行為はしてはいけません。成績評価については各授業ごとにルールがあります。教員の指示をよく聞いて試験に臨みましょう。不正行為が確認された場合、同一学期あるいはその年度に受講した全ての科目の成績が不合格になることもあります。

コース別履修モデル

では、具体的にどのように授業を履修したらよいでしょうか。

ここでコース別の履修モデルを紹介します。履修計画を立てる参考にしてください。もちろん、興味や希望する進路、また専攻地域や専攻言語によって履修内容は人それぞれです。自分なりの外大生活を組み立ててください。



地域社会研究コース

1~2 年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

3~4 年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生
AS Model 1 北西ヨーロッパ・北アメリカ地域 × 歴史 「ヨーロッパの歴史を深く探求したい！」			
専攻言語 I (英語 I) ショートビジット リーズ大学 (英)	専攻言語 II (英語 II) 教養外国語 (ドイツ語)	専攻言語 III (英語 III) 教養外国語 (ドイツ語)	教養外国語 (スペイン語)
ブリテン諸島と近世ヨーロッパ 連合王国の近現代史 ジェンダーから考える近現代アイルランド史	ジェンダーから読み直すアメリカ史 (1) アメリカ論をよむ 周縁から考えるグローバル・ヒストリー	19・20 世紀の西洋/スペイン美術史 感情史の理論と実践 ハブスブルグ帝国史研究 Iberian Studies	歴史映画にみるポーランド近世 近世スペイン美術史 ジェンダーと高等教育 感情史とは何か ヨーロッパ国際関係史
歴史学入門 ジェンダー論入門 世界史を聞く	現代史と映像 国際政治学入門 国際政治理論	西欧現代政治論 ユートピアと社会契約 歴史から教訓は学べるか	卒論演習 中級テーマ→戦間期イギリスの政治と社会
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	教養科目	専門演習 「近代イギリスの政治・社会・文化」	卒論演習 中級テーマ→戦間期イギリスの政治と社会
AS Model 2 東アジア地域 × 現代社会 「経済大国中国のリアルが知りたい！」			
専攻言語 I (中国語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (中国語 II) GLIP 英語 ショートビジット 北宇治大学 (中)	専攻言語 III (中国語 III)	教養外国語 (朝鮮語)
現代中国の政治・経済・社会 中国の伝統と現代 中国の輪郭を知る	地域社会と経済生活 ナショナリズムとイスラーム主義 香港と中国の歴史	中台関係論 現代台湾政治 東アジアポピュラー文化の越境移動 現代中国経済論	朝鮮戦争を考える 解放期南北朝鮮の政治と社会 国際経済学 I・2 東アジアの経済発展と開発経済学
地域研究入門 地域社会と SDGs レイニズム・スタディーズ入門	歴史学入門 グローバルスタディーズの経済思想史	マクロ経済学入門 国際金融概論 貿易と直接投資 近代日本の思想とアジア	卒論演習 中級テーマ→慰安婦問題と東アジア地域
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 山形スタディーツアー	教養科目	専門演習 「中国・香港の歴史と社会」	卒論演習 中級テーマ→慰安婦問題と東アジア地域
AS Model 3 イベリア・ラテンアメリカ × 女性 「途上国の女性の地位向上のために働きたい！」			
専攻言語 I (スペイン語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (スペイン語 II) GLIP 英語	専攻言語 III (スペイン語 III)	教養外国語 (ポルトガル語)
ラテンアメリカ政治経済入門 ブラジル地域研究入門 美術・建築からみるスペイン史	ジェンダーから読み直すアメリカ史 (1) 周縁から考えるグローバル・ヒストリー ジェンダー史概論	伝統とともに今を生きる先住民族マヤ ブラジルの人と社会 国際社会の中のブラジル 近現代ベトナムの性と政治 国際法概論 Gender and Globalization ジェンダーとキャリア形成の国際比較	ジェンダーと高等教育 カナダの歴史 アフリカ人類学 国際法 東洋的側面から見た国際機関
地域研究入門 地域社会と SDGs ジェンダー論入門	現代史と映像 クイア・スタディーズ	法学 卒論演習 「アメリカ地域研究演習」	卒論演習 中級テーマ→米墨国境での移民女性への暴力
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 国造スタディーツアー	教養科目	専門演習 「アメリカ地域研究演習」	卒論演習 中級テーマ→米墨国境での移民女性への暴力
AS Model 4 アフリカ地域 × 貧困 「現地と国際社会、双方の視点から貧困問題を考えたい！」			
専攻言語 I (英語 I) 語地域言語	専攻言語 II (英語 II) 教養外国語 (フランス語)	専攻言語 III (英語 III) 教養外国語 (フランス語)	教養外国語 (ポルトガル語)
アフリカ地域研究入門 1・2・3	周縁から考えるグローバル・ヒストリー 地域社会と経済生活 中東/西アジア・北アフリカ地域基礎	民族誌から学ぶアフリカの生活世界 1 アフリカと開発 アフリカ文化論 アフリカ人類学	民族誌から学ぶアフリカの生活世界 2 アフリカの宗教とエスニシティ アフリカ農村社会学 アフリカ開発援助政策 開発経済学
地域研究入門 地域社会と SDGs 文化人類学入門	グローバルスタディーズの経済思想史 マクロ経済学入門 国際金融概論	国際経済学 国際協力論 紛争後社会と和解	卒論演習 中級テーマ→アフリカの貧困と投資
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 山形スタディーツアー	教養科目	専門演習 「アフリカ地域ゼミ」	卒論演習 中級テーマ→アフリカの貧困と投資
AS Model 5 中央アジア地域 × ロシア地域 × 中東地域 「世界を学び尽くしたい！」			
専攻言語 I (モンゴル語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (モンゴル語 II) 教養外国語 (ロシア語) ショートビジット モンゴル国立大学 (モ)	専攻言語 III (モンゴル語 III) 教養外国語 (ロシア語)	教養外国語 (アラビア語)
モンゴルの蕃牧と前近代史 近現代のモンゴル 「伝統文化」と民主化	ロシア・中東・中央アジアの言語・文化・社会 ナショナリズムとイスラーム主義 モンゴル近現代史 (2)	国際関係の中のイラン モンゴル近現代史 (1) 中央アジア史概論 ソ連経済の歴史 現代ロシア政治・外交・軍事安全保障	中央アジアにおける中国外交の歴史 ユーラシア諸国の政治と国際関係 イスラーム世界と「技術」 アラブ地域政治事情
歴史学入門 世界史を聞く レイニズム・スタディーズ入門	政治分析入門 国際秩序論	歴史資料体論 紛争解決論 歴史から教訓は学べるか	レイニズム・スタディーズ 卒論演習 中級テーマ→20 世紀ユーラシアと社会主義
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	教養科目	専門演習 「モンゴル地域研究演習」	卒論演習 中級テーマ→20 世紀ユーラシアと社会主義

現代世界論コース

CG Model 1 中央ヨーロッパ地域 × 環境「環境先進国ヨーロッパの経験から学びたい！」

専攻言語 I (ドイツ語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (ドイツ語 II) 教養外国語 (フランス語)	教養外国語 (フランス語)	教養外国語 (イタリア語)
ドイツ・ヨーロッパの中世 ドイツ語圏の文化 考える世界史	ドイツ近現代史 中東欧国際関係史 政治学原論 - 倫理と環境正義 グローバルスタディーズの経済思想史 歴史資料科読書 国際政治学入門	現代ヨーロッパにおける戦争の記憶 現代世界論概論 I A 自然と人間の社会史 環境保全論 I・II 環境保護・脱炭素のドイツ・ヨーロッパ史	感情史の理論と実践 ドキュメンタリー映画論 感情史とは何か 歴史から教訓は学べるか 西政現代政治論
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	基礎科目	専門演習 「環境保全論演習」	卒論演習 卒業テーマ～ヨーロッパにおける環境意識の発達～

CG Model 2 東南アジア第1地域 × ジェンダー「エンタメ産業におけるジェンダー問題を考えたい！」

専攻言語 I (フィリピン語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (フィリピン語 II) GLIP 英語	専攻言語 III (フィリピン語 III)	教養外国語 (韓国語)
フィリピン研究入門 1 フィリピン研究入門 2 東南アジア研究入門	ジェンダー史概論 東南アジア地域研究特論 ジェンダー論入門 質的調査法 ミクロ経済学入門 質的調査法 社会学原論 クワイア史の探求	東南部東南アジア政治経済社会史 東南アジアの物質文化 近現代ベトナムの性と政治 現代世界論概論 I A ケアの理論と政治理論 日常生活とつながるジェンダー 1・2	医療から見るベトナム近現代史 森崎和江とフェミニズム ジェンダーとキャリア形成の国際比較 ドキュメンタリー映画論 自由論
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	基礎科目	専門演習 I:「社会学専門演習」 II:「ジェンダー論演習」	卒論演習 卒業テーマ～アジアにおける女性とエンタメ～

CG Model 3 西南ヨーロッパ地域 × 移民・教育「移民のこどもたちを笑顔にしたい！」

専攻言語 I (フランス語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (フランス語 II) GLIP 英語	専攻言語 III (フランス語 III)	教養外国語 (アラビア語)
パリ市を通して見るフランス社会 フランス史概論 History of Contemporary France 現代史と映像 政治学原論 - 倫理と政治 レイシズム・スタディーズ入門	アフリカ地域研究入門 ナショナリズムとイスラーム主義 文化人類学入門 ユートピアと社会契約 質的調査法	近世フランスにおける民衆の経験を考える 「境界」としてのイタリア 私たちのアナキズム研究 「教育問題」と社会学 国際社会学 移民と国家の社会学 感情史とは何か	アフリカ文化論 レイシズム・スタディーズ 1・2 市民権/国籍の政治社会学 国際教育論 紛争後社会と和解
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	基礎科目	専門演習 「国際社会学演習」	卒論演習 卒業テーマ～移民のこどもとフランス社会～

国際関係コース

IR Model 1 オセアニア地域 × 国際法「先住民の権利の問題を SDGs の観点から考えたい！」

専攻言語 I (英語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (英語 II) 諸地域言語	教養外国語 (フランス語)	教養外国語 (イタリア語)
オセアニア地域基礎 オセアニアの歴史と社会 (1)(2) 法学 民法総論 レイシズム・スタディーズ入門	周縁から考えるグローバル・ヒストリー 地域研究入門 SDGs ミクロ経済学入門 グローバルスタディーズの経済思想史 Theory and Practice of United Nations	「先住民 (族)」からみる 「先住民」から考える 国際秩序論 国際法 I・II 国際法事例研究 グローバル・ガバナンス論と移民・移民	カナダの歴史 実際の側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	基礎科目	専門演習 「国際法演習」	卒論演習 卒業テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～

IR Model 2 南アジア地域 × 国際政治「外交官として日本と外国を繋ぐ架け橋になりたい！」

専攻言語 I (ヒンディー語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (ヒンディー語 II) GLIP 英語	専攻言語 III (ヒンディー語 III)	教養外国語 (アラビア語)
南アジア研究入門 1 南アジア研究入門 2 パキスタン研究入門 1 国際政治学入門 世界史を聞く 政治学原論 - 倫理と政治	パキスタン・アフガニスタン研究入門 ナショナリズムとイスラーム主義 国際政治経済入門 国際安全保障論 政治分析入門	アフガニスタン・パキスタン 近現代政治社会史 1・2 国際法概論 日本外交論 地域主義比較分析 国際法 I・II	インド・パキスタン分離独立論 1・2 アラブ地域政治事情 紛争解決論 ゲーム理論 1 ヨーロッパ国際関係史
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	基礎科目	専門演習 「国際協同」	卒論演習 卒業テーマ～インド太平洋をめぐる国際政治～

IR Model 3 東南アジア第2地域 × 経済「グローバル・バリューチェーンの課題について考えたい！」

専攻言語 I (タイ語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (タイ語 II) 教養外国語 (中国語)	専攻言語 III (タイ語 III) 教養外国語 (中国語)	教養外国語 (朝鮮語)
タイ研究入門 1・2 東南アジア研究入門 ミクロ経済学入門 地域研究入門 マクロ経済学入門	地域社会と経済生活 現代東南アジア経済論 国際政治経済入門 貿易と直接投資 国際金融概論	ラオス経済論 タイ政治経済論 フィア史の探究 開発経済学 国際経済学 1 ビジネス法 ラテン・アメリカの経済発展と開発経済学	現代中国経済論 1・2 環境保全論 1 国際経済学 2 開発経済学と東南アジア地域研究
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	基礎科目	専門演習 「国際経済論」	卒論演習 卒業テーマ～アジア経済とバリュー・チェーン～

注：①は地域基礎、②は地域社会研究コース、③は現代世界論コース、④は国際関係コースで開講されている授業を指します。先日の「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。
注：モデル内で紹介された履修科目は 2018 年度から 2023 年度までの授業科目に基づきます。年度によって、当該授業が開講されない場合や開講学期が見える場合、履修科目が変更される場合もあるので注意しましょう。
注：科目と地域基礎科目は専攻言語によって履修方法が異なります。詳細は履修要項を参照してください。教養科目は 1 年次・2 年次にそれぞれ 4～5 コースずつ履修するとよいでしょう。
※単位取得によって、在学期間 4 年で卒業できるケースと、そうでないケースがあります。詳細は卒業要項を参照してください。



授業の選択に不安がある時は……
履修相談コーナーへ！ 教員が相談にのります
4月10日(月) 11:00-12:30 / 4月11日(火) 11:00-12:30
本部管理棟 2階大会議室

4. 学内活動紹介

大学には授業以外にもサークル活動などさまざまな課外活動の場があります。5 ページで紹介した VOLAS の活動もそのひとつです。ここでは学内行事や大学の企画など、大学と連携した活動に参加している先輩方の声を紹介します。皆さんも興味のある課外活動に積極的に参加してみてください。

大林 和真 さん

オセアニア／英語

現代世界論コース

真島ゼミ・4 年（22 年度卒業）

留学先のニュージーランド・オークランドにある、ラグビーの聖地 Eden Stadium で

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！私は、ラグビー部に所属し 4 年時には主将を務めました。小学校から高校までは野球一筋だったのですが、大学の 4 年間はラグビーをしました。「外大で体育会部活があるなんて…」「大学に入ってまで部活するなんて…」と思うかもしれませんが、私も入学時はそう思っていました。しかし、4 年間のラグビー部の活動を終え、部活動をするということには大きな意義があると思っています。大学生という期間は、「自分が本気で何かに取り組む」ことができる最後の期間です。全身全霊をかけて真剣にスポーツに取り組むことができるのは、大学が最後です。今までスポーツをしてこなかった、スポーツをしていたけど不完全燃焼だった、本気で何かに取り組みたいという人には、是非部活動に入ることをお勧めします。特にラグビーにおいては、大学入学前のスポーツ経験など関係ありません。外大ラグビー部は大学からラグビーを始めた未経験者で成り立っています。

以下で、簡単にラグビーや外大ラグビー部の活動を紹介したいと思います。ラグビーは、激しいコンタクトを伴う危険なスポーツで筋肉ダルマのような巨人にしかできないという見解が一般的ですが、危険なプレーは昨今のラグビーでは厳しく禁止されています。また、ラグビーには様々なポジションがあります。どんな人でも活躍できる可能性が開かれているのがラグビーです。それぞれに与えられたポジション、役割を果たし体を張りながら一つのボールを「繋ぐ」至高のスポーツだと思います。また、外大ラグビー部員の多くは未経験者で、監督・コーチが存在せず学生自身が活動を運営しています。学生同士が教え合い、学生が作り上げたチームで勝利を掴むことは、外大ラグビー部でしか味わえないでしょう。このような部活動が外大には多数存在しています！色々な団体の新歓に行って、部活動に入部し充実した大学生活になることを祈っています！！



龍神 圭人 さん

東南アジア／マレーシア語

国際関係コース

中山裕美ゼミ・3 年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

皆さまの中には大学で新しいことにチャレンジしようと心に決めている方も

いらっしゃるのではないのでしょうか。元々話すことが好きだった私は大学から落語を始めました。台詞を覚えることはもちろんのこと、江戸時代の人々の口調や所作を身につけるのはとても大変でした。私が所属している落語研究会では寄席の舞台上で披露すること以外にも、地域の方々と協力して定期的に高齢者施設等に伺いそこでも落語をさせていただいています。自分は普段ご年配の方々と時間を取ってお話しする機会がなかなか

なかったのですが、落研の活動を通してそういった方々とも触れ合う経験ができました。公演後に世代を問わず色々な人から「面白かった」の言葉を頂くといつも達成感でいっぱいになります。私はサークル活動を通し自分なりの「やりがい」を見つけることができました。大学は学問や課外活動など様々な分野で自分の興味をみつけることができる絶好の場です。新入生の皆さんも自分の好奇心を頼りに多種多様な活動に挑戦してみたいかがでしょうか。皆様の大学生活が充実した日々になることを心から願っています。



日本橋三越の新春寄席で落語を披露しているところ

森 明日香 さん
ロシア／ロシア語
国際関係コース
出町ゼミ・4年（22年度卒業）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

外大のメインイベントとして、11月に開かれる外語祭があります。100回を超える歴史を持ち、1年生による料理店と2年生による語劇、その他注目

の企画もたくさん行われます。私は大学での3年間、その外語祭を運営する外語祭実行委員会に所属し、その中でも料理店の運営に携わる事務局に所属していました。他にも担当ごとに全部で7つの局に分かれ、外語祭に関わる全ての仕事をこなしています。実行委員全員が、外語祭の成功という1つの目標に向かって日々奮闘しています。この活動を通して新しいことをたくさん学び、語科や学年関係なく色々な人と繋がることができたのは、本当にいい思い出です。

外語祭は外大生だけでなく、ご近所の方や外大を目指している受験生にも、外大を好きになってもらえるきっかけとなる素敵なイベントです。全ての人にとって最高の5日間になるよう、実行委員は1年かけて全力で準備をしています。1から外語祭を作り上げていくやりがいはいとても大きく、学生生活を充実させるにはもってこいの環境です。秋晴れのキャンパスによく映える赤いジャンパーを着て、外語祭を創り上げてみませんか！

第99回外語祭での活動の様子



第100回外語祭（2022年11月）



Welcome Messages

菊池 陽子 先生
地域社会研究コース



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは入学とともに13に分けられた地域の一つに所属

し、その地域の専攻語を学ぶことになります。第一希望の専攻語所属になっ

た方もいれば、そうではなかった方もいるでしょうが、第一希望ではなかった方

も心配しないでください。地域や専攻語との出会いは、多くの場合、偶然から生じた

縁です。本学の国際社会学部という場では、皆さん自身がその縁をつなげ広げていくこ

とができます。つなげ方、広げ方は自由なのが本学部の良いところです。地域の沼には

まりたい人も、現代世界の諸課題をとことん思考したい人も、特定の学問領域から地域

の諸課題を俯瞰したい人も、まずは所属地域と専攻語からその一步を踏み出してみて

ください。本学では諸地域の留学生が学んでいますので、学修した専攻語でその地域の人々と話をする機

会も得られるはずですよ。卒業する頃には偶然であった出会いが必然に変わっていたというような、

地域とそこに住む人々との楽しくもありちょっと苦しい時もあり、けれど幸せな出

会いをして下さることを期待しています。

教員は皆さんの学修を全力でサポートします。

5. 学生によるゼミ案内

～うちのゼミ紹介します！～

国際社会学部では、3年生からゼミを履修します。（注：指導教員が開講する専門演習が「本ゼミ」です。普段は「ゼミ」と呼びます）教員の指導を受け、ゼミ仲間との議論を経ながら自分の研究を磨き、最後に卒業論文としてまとめることになります。

…といっても、ゼミの具体的なイメージがなかなか湧かない、という学生も多いのではないのでしょうか。そこで、既にゼミを経験した皆さんの先輩の声の一部を、ここに紹介します。ゼミ生の声から、ゼミの雰囲気を感じてみてください。



（地域社会研究コース 青木雅浩ゼミ）

本ゼミ最大の特徴は、卒業論文を書くためのノウハウを基礎から丁寧に学べることです。毎回の講義は、少人数でのディスカッション形式で行われます。担当の青木先生は、授業ごとに設定されたテーマについて私たちに考え、話し合う機会を多く設けて下さるため、自力で論理的な文章を書く力を養うことができます。ここでは、主に卒業論文を書くために必要な知識について話し合います。例えばどのように問いを設定すればよいのか、問題意識をどのように見つけばよいのか、先行研究はどのように発見し、何に気をつけて読めばよいのかなどです。これらは自力で解決するには難しい内容です。しかしこのゼミでは、学生同士で互いに意見を出し合うので、みんなでそれぞれの問題を解決していくことができます。青木先生も親身になって指導して下さいるため、イチからしっかりと卒業論文を書けるようになりたい方におすすめのゼミとなっております。

（地域社会研究コース 青山弘之ゼミ）

青山ゼミでは中東の事柄であれば何でも OK! という研究テーマに関してはとても自由なゼミです。授業内では本の輪読、それについてのプレゼンテーション、そこへの鋭い質問、そこから派生する議論を一連の流れとして年間を通して行います。また各々自分の興味関心がある事柄をプレゼンテーションでは発表するため、ほかのゼミのメンバーの発表を聞いて、中東の他の国や事柄にも興味を抱くことのできるため、「中東の探索」と「自身の興味の深堀」を両方できるのが魅力だと思います。さらに時折、ゼミの卒業生の方や青山先生のお知り合いの中東研究の専門家がゼミに来てくださり、ゼミに参加していただけることも！

さあ！ユーモラスな青山先生とその仲間ともに、広大な中東世界へその手を伸ばしてみませんか？（赤塚大輝）

（地域社会研究コース 大石高典ゼミ）

大石ゼミは専攻地域にあまり偏りが無く、様々な語科の学生が所属しているため興味・関心も多様ですが、その中で共通するのは「フィールドワーク」という手法です。教育やジェンダー、労働、漁業、制作などテーマは全く異なっても、多くの学生が実際に何らかの現場に身を投じて調査したいという思いを持っています。3年次の春学期はフィールドワークに関連する書籍を輪読し、秋学期は各々の研究テーマについて発表と議論を重ねて深めていきます。フィールドになり得る場については、留学先はもちろんアルバイト先や地元の施設、特定の地域や組織など、その可能性は幅広く、自由度が高いのが大石ゼミの特徴だと思います。多様なメンバーがいるとゼミを通して今まで全く触れてこなかった物事について考えたり、自分とは異なる視点を知ったりと刺激を受けることも多いです。新たな発見によって有意義な時間になることと思います。（堤萌恵）

（地域社会研究コース 大鳥由香子ゼミ）

大鳥先生のゼミの特徴は、学生主導のディスカッションによって授業が進行するところです。まず課題文献に対して自分なりの疑問点をリストアップし、その疑問点をゼミにおいて投げかけます。そしてその疑問に対して他のゼミ生が異なる論点や観点を提示してくれるので、自分が課題文献を読んでいるときには予想もしなかった方向に議論が発展することもしばしばです。またゼミの一番のおすすめポイントは、宗教史、経済史、政治史など多岐にわたるアメリカ現代史のトピックの中から、学生の興味に合わせて授業で扱う文献を選んで下さるところです。先生は雑談ベースのカジュアルな個人面談を定期的開催してくださるのですが、その際にお伝えした自分の興味や関心に合わせて柔軟にゼミのトピックを変更して下さいます。そのため自分の好きなことをとことん究めたい人にオススメのゼミだと思います。（藤井里帆）

（地域社会研究コース 菊池陽子ゼミ）

こんにちは！菊池ゼミです！菊池ゼミでは、歴史を中心に東南アジア地域を探究することができます！先生はラオス史を専門とされており、ゼミでは論文や資料の輪読を通して東南アジア地域の歴史や文化を学びながら、先生がコメントされるラオスの事例や各専攻の学生のコメントと比較しつつ、東南アジア地域の歴史文化を比較考察し深く知ることができます！2022年度は、春に東南アジア地域の歴史文化を取り上げた文献を輪読して学びを深め、秋には『ナガラワッタ』という1930年代にカンボジアで発行された新聞の日本語訳を題材に、歴史的背景も加味しつつ、当時の報道のされ方や主張、生活のあり方を読み解きました。ゼミは東南アジア地域全域に広く触れていきますので、東南アジア地域外の専攻の方を含め、東南アジア地域に興味のある幅広い学生が集まっています！学生の研究テーマも様々で、楽しいゼミですので、東南アジア地域研究に興味のある方は是非！（大塚力）

（地域社会研究コース 久米順子ゼミ）

久米ゼミでは、最初は自由に選ぶ好きな題材について、そして徐々に卒論の執筆に向けて、担当回に行うプレゼンを通し、自分の興味関心とそれに対する理解を深めていきます。先生はご専門であるイベリア半島の中世美術史に留まらず、西洋美術史全般や建築・文化・音楽などと社会的な影響に造詣が深く、掘り下げや説明の甘かった箇所への質問や、魅力的で説得力のある切り口の補足、論理展開のバランス修正にも非常に助けになってくださいます。学生は美術・文化に関心が強い者が多く集まるものの、蓋を開けてみれば専攻言語・地域も様々で、興味関心も多岐に渡るからこそ、交流を通して思わぬ発想が生まれたり、新しい分野に触れたりできるのも魅力のひとつです。発表も卒論執筆もテーマに関する自由度が高く個人の裁量によるところは大きいですが、それに対する先生・学生からの反応は自分で向き合うだけでは得られない着眼点や膨らませ方をもたらしてくれます。（桜井七海）

（地域社会研究コース 倉田明子ゼミ）

倉田ゼミは「中国近代史、香港・南中国地域史」を中心に扱いますが、ゼミ生は中国語科だけでなくマレーシア語科や朝鮮語科などの学生もいます。というのも、“中華圏”というものを考えたとき、華僑・華人圏も含まれ、その範囲は外大の語科の括りよりもずっと広いので、地域研究コースでありながら語科を跨いで学生と交流することができます（こともあり）ます。また、一口に歴史といっても地域史、社会史、文化史など範囲が広く、ゼミ生の研究テーマも多岐に渡ります。そして、複雑難解な香港について、研究の第一線でご活躍なさる倉田先生から学ぶことができるこれ以上ない環境です。もちろん、倉田先生はご自身に馴染みのないテーマでも手厚くご指導くださるので、興味関心に応じてテーマを自由に設定することができます。優しく素敵な倉田先生のもとで、知の総合格闘技とも言える歴史学的アプローチに触れ、満足のいく卒論を書き上げたい方は是非お越しください！（中村情奈）

（地域社会研究コース 鈴木義一ゼミ）

ロシアを中心に旧ソ連圏を対象とした地域研究の手法を学ぶゼミです。ディシプリンは政治・経済・社会・国際関係など社会科学を軸にして多岐にわたり、また現代の諸問題と歴史的事象のどちらでも研究対象に選ぶことができます。授業では課題文献（実際に扱ったテーマは権威主義、経済システム、ナショナリズムなど）の輪読や、学生が自分の関心に合わせて収集した文献の発表、それらを基にした議論を行っています。ロシア語文献を読解して発表したこともありました。3年次秋学期からは徐々に卒論を見据えた作業が始まり、学期末には卒論の予行練習として12,000字程度の小論文を執筆します。こうした準備を踏まえて4年次には卒論執筆に取り組みます。現在、この地域はロシアによるウクライナ侵攻をはじめとして様々な問題や火種を抱えています。その現状や背景に興味を持ち理解を深めたい皆さんへ、鈴木ゼミは門を開いています。（椎名旺快）

（地域社会研究コース 巽由樹子ゼミ）

巽ゼミでは、主にロシア史やメディア史を学びますが、卒論のテーマはそれに限りません。例えばソ連・ロシアの芸術史、政策史、文学、宗教、ジェンダーなど、ゼミ生自身の関心分野に沿って研究を進めていくことができます。授業は、研究書を講読し、発表・議論を行う形式です。先進的な文献を扱うことも多く、最新の研究動向を知ることができます。議論の際には巽先生が背景の補足や問題点を的確に指摘してくださるので、資料を批判的に分析する力が身につくと思います。巽ゼミの特徴は、一次史料を扱う実践演習があることだと思います。3年秋学期時にソ連時代の大衆雑誌を読み解き、出版者の意図や購読者層について考察しました。メディア分析に必要な力が身につくだけでなく、実際に昔の雑誌を手にすることの感動を味わえます。ロシアに興味があるけど、まだどの分野に関心があるのかわからないという方も大歓迎です。ゼミの雰囲気もとても和やかなのでおすすめです！（諸見里杏）

（地域社会研究コース 千葉敏之ゼミ）

私が千葉ゼミを通して得たものは、本気で学問に向き合ったという自信と、知ることの喜びだといえます。そしてその考えは卒業して5年が経った今も変わらないままです。千葉ゼミでは、毎講義に中世ヨーロッパ世界との新たな出会いがあります。そしてその出会いを最も喜び、最も真剣に向き合っているのは千葉先生といえるでしょう。ゼミ生はそんな先生の姿をみて、新たな知を得る機会は皆に平等に与えられていること、それから、純粋な知的探求の喜びを知ることになります。千葉ゼミを通して体得する、文献の読み方・史実の捉え方・考察の論じ方、すなわち歴史を自分なりに解釈する方法、その作法は生涯を通じてあなたの武器であり、新たな知という喜びをもたらす財産になります。卒業後、エレクトロニクス企業に勤め、現在は縁あって南米に暮らす私自身、新たな世界に触れる度にそのことを実感しています。是非あなたにも、自身の知的好奇心の赴くままに、先生と共に中世ヨーロッパ世界に没入する、そんな千葉ゼミでしかできない経験をしてほしいと思います。（中野遥香）

（地域社会研究コース 登利谷正人ゼミ）

南アジアは経済発展を続け、急速に市場が拡大しているブルーオーシャンです。登利谷ゼミで南アジアについて深く学び、日本と南アジアを繋ぐ国際人材を目指しませんか？私たちのゼミでは、主にパキスタンやアフガニスタン、インドを中心に、歴史、経済、文化など、様々なトピックを学生自身が選択しながら学びを深めることができます。日々のゼミ活動では、南アジアに関係のある論文や書籍を輪読し、先生の解説を参考にしながら議論を深めています。また、定期的に、ゼミ生自身が自由に選択したトピックについて相互発表会を実施しています。基本的に少人数のゼミで、先生と生徒の距離が近いことも特徴です！そのためゼミでの学びや卒業論文の方向性のみならず、私生活や履修に関する相談も気軽にできる環境です！私たちのゼミに入って、南アジアを共に楽しく学びましょう！ゼミ生一同、新たな仲間をお待ちしております！！（東佑太、古田花梨）

（地域社会研究コース 藤井豪ゼミ）

藤井ゼミは朝鮮近現代史を扱うゼミですが、フェミニズムやマイノリティへの差別など、様々な関心を持つ学生が集まっています。ゼミでは、他者との対話の中で自分の考えを言語化することを大切にしています。毎週課題文献を読み討論を行います。何気ない会話から自分の考えが実は固定観念に満ちたもの、あるいは他者を無意識に傷つけるものであった、と気付く時があります。日本で朝鮮を語ることがタブー視される中、こうして自分の思考過程に向き合うことは「なぜ朝鮮に興味を持つのか」を問い直す機会になります。また、自分は他者とどう関わるかを自問自答し、そのための態度を養うことは、大学という枠を超えた自分の生き方を見つめることに繋がるでしょう。とはいえ、先生を交えて学食に行ったり、ゼミ旅行に行くなど、穏やかで楽しい雰囲気のゼミです（笑）

朝鮮史、日韓関係、フェミニズムなどに関心ある方、お待ちしております！（西山理子）

（地域社会研究コース 舩方周一郎ゼミ）

舩方ゼミの特徴は自身の興味がある研究テーマを、様々なバックグラウンドや興味関心を持つ仲間と議論を深めて突き詰められるところです。このゼミでは「ブラジル（ラテンアメリカ）を起点とした比較地域研究」を掲げていますが、扱うテーマは各々で大きく異なります。4期生はスペイン語科やポルトガル語科で構成されていますが、扱う地域はアメリカ、朝鮮、ベネズエラ＝中国や、インドネシアなど多岐にわたります。3期生の先輩方も様々な語科の出身です。また個人によってテーマは大きく異なるものの、「地域研究は何のためにあるのか？」「その問題は善悪で片付けられるのか？」など物事、そして地域研究の根幹となる考え方もゼミを通して学んでいきます。こうした事柄を仲間と議論しながら、自身の研究につなげていきます。懇談会も定期的に開催するなど雰囲気のいいゼミで、来年はゼミ宿も再開できればと思います！舩方ゼミのホームページ masukata-seminar.org で普段のゼミの様子も公開しています。後輩の皆様の入ゼミをお待ちしてます！（向井ショーン虎太郎）

（地域社会研究コース 宮田敏之ゼミ）

「モノから社会を見つめる」、この考えに惹かれて私は宮田ゼミに入りました。多様な文化や歴史の中で、独自の発展を遂げた東南アジアを紐解くため、宮田ゼミでは自分なりの「切り口」を大切にしています。例えば、カンボジアの伝統絹織物が世界で注目される実態を調べたり、日本の乳製品メーカーがタイで成功した背景を調べたり、他にもタイの映画産業やミャンマーの自動車産業などゼミ生の専攻と興味は様々です。ゼミでは、お互いの問題関心を大切にし、文献収集、分析、論文執筆方法を学び、意見交換します。多様な地域・テーマを扱う中で、徐々に「問いを見つける力」や「地域に根差す視点・社会を俯瞰する視点」が身についたように思います。ゼミは和気あいあいとした温かい雰囲気、先生は一人ひとりにじっくり耳を傾けてくださいます。自分の興味を深掘りしたい、初歩から経済を考える力を養いたい、地域を通じて国際社会を俯瞰したい、そんな方にお勧めのゼミです！（野口亜依）

(地域社会研究コース 宮田敏之ゼミ)

宮田ゼミでは主に東南アジア経済について学びます。しかし一口に経済と言っても、理論や数式を学ぶわけではなく、東南アジアの歴史、政治、文化、社会情勢など、様々な切り口から経済動向を捉え議論を深めます。したがって、経済を一つの軸としつつも、ゼミ生の関心がある分野は多種多様です。私はタイのスマートシティ政策を卒業論文のテーマに掲げていましたが、ある人はタイの現代美術と企業メセナ（企業が芸術・文化活動を支援すること）の関係、ある人はインドネシア人の訪日観光をテーマとしていました。そのため、ゼミ生同士で互いのテーマについて議論を進めると、いつも新鮮な発見があり、自身のテーマについても形式や枠に捉われない研究を進めることができます。地域研究として、自身の関心のある地域について分野を問わず理解を深めたい人は、ぜひ宮田ゼミと一緒に勉強しましょう。(菊池峻汰)

(地域社会研究コース 山内由理子ゼミ)

「文化人類学・先住民研究・オセアニア地域研究」を掲げる山内ゼミですが、まずは『想像の共同体』などの古典と格闘することから始まります。①難しい言葉に惑わされず具体的に説明できること②わからなければどこがわからないのか説明できることを意識しながら、読解力・思考力を鍛えていきます。3年生を終える頃には、精読を通して養った「現代社会を批判的にみる」視点が、日常生活の様々な場面で生きることを実感できるはずです。卒論研究は、個別面談で先生からいただくアドバイスを指針に、各自で文献を探し、読んでいくのが基本になります。同時に、卒論の構想・進捗発表を通して他のゼミ生から新たな気づきを得られるので、自らの研究を多面的に見つめ直すことができます。じっくり、こつこつ、真摯に学問に取り組むのが山内ゼミです。学生の学びを全力でサポートしてくださる先生と切磋琢磨できる仲間と共に、自らの「問い」に向き合ってみませんか？(山本万智)

(地域社会研究コース 山内由理子ゼミ)

3年生の時点では各自で予習をしてからゼミの時間に文献を読み進める形式のゼミです。難しい文献もあり予習に時間がかかることもありますが、分からない部分はゼミの時間で丁寧に時間をかけて進めてくださいます。私自身当ゼミに入ってから新しく学んだことがほとんどでしたが、様々な研究題目に共通するような概念や考え方について学習することができました。卒論について学生が考える機会をよく与えてくださるので卒論の書き方や計画の立て方まで3年生の時点で学ぶことができます。また、アットホームな雰囲気ので卒論や進路のことについても質問しやすく山内先生も親身になって相談に乗ってください。オセアニア地域や文化人類学に興味のある方には是非おすすめします。(田中菜生)

Welcome Messages

中山 裕美 先生

国際関係コース



ご入学おめでとうございます。新たに始まる大学生活に心躍らせている皆さんに、昔話をしたいと思います。私がこの仕事に就くきっかけは小学校の授業でルワンダ虐殺のドキュメンタリーを見たことでした。内容は忘れましたが、大きな衝撃を受けたことを鮮明に覚えています。そのときに難民に関わる仕事がしたいという気持ちが芽生えたのですが、10年以上を経て、学生生活のなかで難民キャンプを訪れた際に得た体験は私の人生観を180度変えてしまうものでした。私が可哀想で助けを必要としているだけの人だと思っていた難民の方たちは、自らが置かれた環境の中で逞しく、希望を持って生きていたのです。この経験から、私は自分の見聞きしてきた情報を絶対視してはいけないと気づき、自分の知らない世界を知る色々な立場の人がもたらしてくれる知識に貪欲であろうと心がけてきました。その意味において、皆さんもまた私の師なのです。

皆さんにも、これまでの人生観を揺さぶられるような出来事がこれから訪れると思います。その時、あまりの衝撃に頑なに心を閉ざしたい気持ちになるかもしれません。ですが、勇気を出して心を開いてみてください。きっとその先に新しい世界が広がっているはずです。

国際社会学部は、皆さんの挑戦を全力で応援します。

（現代世界論コース 小野寺拓也ゼミ）

小野寺ゼミでは2年間かけて自分の関心のあるテーマに取り組み、3年ゼミでは小論文、4年ゼミでは卒業論文にまとめます。ゼミ生は主にドイツ近現代史の中から、ナチ官僚・音楽・歴史教育・記念碑など関心のあるテーマを選びます。私は漠然と戦後ドイツに興味を持っていましたが、概説書を読むうちにそのテーマの基礎知識や論点がわかってきて、関心を絞っていきました。各自文献を調べ、読み進める作業をしながら、授業では歴史学での「問い」の立て方や論文のアウトラインの作り方などを学んでいきます。特に4年の春学期には『アンネの日記』を読み、そこからどのような「問い」を立てられるか、また論文にするとしたらどのような構成にすることができるかを考えるという面白い課題があります。授業以外で文献や自分の論文と向き合う時間を多く必要としますが、大学生活で学問に真摯に取り組んだという実感を持てると思います。（樋爪美波）

（現代世界論コース 田邊佳美ゼミ）

国際社会学と聞いて、どんなイメージが浮かびますか？ぱっと答えにくいかもしれません。例えば紛争のニュースを見聞きして、「現地の人は今、どんなふうにいるんだろう？例えば女性は？移民は？労働者は？」と考えたことがあるなら、本ゼミでの学びが合うのではと思います。ゼミ生はそれぞれ異なる問題関心を持っていますが、社会全体の大きな流れを掴みつつ、そこで生きる個々に目を向ける人が多いです。授業内容は文献購読とディスカッションが中心です。大きな特徴は二つ。一つ目はゼミ生の関心に合わせて文献が選ばれるところ。毎年多様な学生が集まりますが、先生がそれぞれに合ったテーマで本を用意してくれます。二つ目はディスカッションが盛んなところ。背景には安心して発言できる空気感があります。「自信がないな」と思いながら言ったことでも、先生をはじめとしたメンバーが真摯に受け止めてくれます。文献の分からなかった部分を皆で考えたり、内容に引き付けて自身の体験を共有したり、議論は多岐に渡ります。ピクニックや懇親会もあり、先生や先輩への相談もしやすい環境です。（Fさん）

（現代世界論コース 中山智香子ゼミ）

本ゼミでは「何が私を突き動かすのか」を徹底的に探求し、開示することが求められる。このグローバル社会の諸問題は常に複合的であり、学問の枠にとらわれずに手探りで問題と向き合わなければならない。既存のレンズにとらわれない自分なりの問題提起を、泥臭くみっともない姿を晒しながらも、直視し続け丹念に積み上げていく作業が不可欠である。具体的な活動として、まず三年次の春学期に基礎文献の輪読と並行し、複数名で論考を執筆する。それを土台に秋学期にはゼミ論文を個人で書く。そして四年次には集大成として卒業論文を完成させる。本ゼミの中で行うすべての活動には正解が無い。そのため周りの期待に応え、耳触りのいい言葉を並べる「いい子」は必要ない。比べられることも無ければ、良し悪しの評価をされることもない。そのような環境に身を置くことは、当然スリルを伴う。…が！！苦勞と引き換えに得られるものは何物にも代えがたい。それは、もはや戦友と言えるような存在である。真摯に学問に向き合う中で生まれる友情は、まさに本ゼミでしか得ることができない。同期や中山先生はもちろん、上級生や院生、卒業生の愛の鞭を受けながら、ともにパトスを燃やせるすべての外大生を待ち望んでいる。（中村優太）

（現代世界論コース 真島一郎ゼミ）

“自分は世界のどこに立っているのか”という共通の問いのもと、様々な分野に関心を持つ学生が、それぞれのテーマについて思う存分思考を深めることが出来るゼミです。研究テーマは多様ですが、各自でただ黙々と論文執筆に取り組むというわけではありません。むしろ、ゼミ友同士で研究テーマを共有し、友のテーマも自分事として一緒に考え、自身も新たな視点にであうというのが真島ゼミの大きな特徴です。毎年真島ゼミ生は、素敵なゼミ友との出会い、皆で一緒に励まし合いながら書き上げた論文に誇りを持って卒業していきます。私たちの身近に存在する“なにごとか”。そのままで、怒り、悲しみ、混乱し、考え、考え、考える…。そんな真島ゼミでの、日々を振り返るころ、以前の自分には想像もつかなかったような地点に立っていることでしょう。（文美友）

（現代世界論コース 梁英聖ゼミ）

「大学は、社会とは別の時間が流れている。それは、真理を探究する時間だ」——梁英聖先生がおっしゃったこの言葉は、梁ゼミを表す言葉としてもぴったりだと思います。ゼミでは、レイシズムと資本主義の関係を批判的に分析する思考力を身につけるため、古典を精読して社会理論を学びます。2022年度秋学期にはフーコーの『監獄の誕生』を読み、理解できるまで徹底的に教わりました。レジュメ作成や発表を積み重ねていく日々は、決して楽ではありません。しかし、普遍性を持つ理論を学ぶことは、社会の別のありかたを構想する上で必ず役立ちますし、どんな疑問にも真剣に向き合い丁寧に答えてくださる梁先生のもとでの学びは、とても楽しく、研究室には密度の濃い時間が流れています。知識や理論を、行動や実践に結びつけている梁先生の言葉は、鋭く、強く、優しいです。梁ゼミで、共に真理を探究し、「自分」という生の在り方を見つめ、創造してみませんか。（鳥倉捺央）

（国際関係コース 篠田英朗ゼミ）

私たち篠田ゼミでは平和構築について扱っています。平和構築？堅苦しくて難しそう…なんて思ったそこの貴方！篠田ゼミは先生のユーモア溢れるお喋りと個性豊かな同期や先輩に囲まれた暖かい空間です！先生は私たち学生に親身に寄り添ってくださり、進路相談だけでなく日常の悩み相談にも乗ってくださいます。同期や先輩との繋がりも強く、ゼミ合宿や食事会、就活体験談共有会も開催されています。研究テーマは平和構築のみに限定されておらず、昨年の卒業研究のテーマもクールジャパン政策や日本の経営からウクライナ侵略やイエメン内戦まで、一人一人の興味に応じて様々でした。3年生で扱う MECE や PCM は就職活動にも役立っています。もちろん国連文書読解や紛争分析手段学習も行います。省庁や独立行政法人を志す方にもおすすめのゼミで、先生がゼミ内で貴重な裏話を共有してくださいます。就職実績も良好です。篠田ゼミ一同、後輩のみなさんをお待ちしています！（伊吹玲緒）

（国際関係コース 武内進一ゼミ）

武内ゼミでは主に広義の「国際協力」を取り扱います。指導教員である武内教授は日本有数のアフリカ研究者ですので、アフリカへの関心が高く、かつ国際関係や開発といった切り口で学びを深めたい学生には持ってこいの学び場です。さりとてアフリカ地域専攻の学生ばかりが集まっているわけでもありません。また、国際協力、国際政治、開発経済、安全保障など、ゼミ生の関心分野は十人十色です。だからこそ、自身にはない新たな観点で物事を発見できる可能性があります。そのために必要不可欠なことは、議論への積極的な参加です。学んだ事柄を自身の専攻地域に置き換えて考え、得られた気づきを意見として発信することがゼミにおいて重要な役割を担います（意外にもこれが難しいのですが）。何に対しても質問・コメントをする心持ちで臨むと、あっと驚かされる発見が生まれることがあり、それこそがゼミという場で学ぶことの面白さであります。（山口天音）

（国際関係コース 松永泰行ゼミ）

「巨人の肩の上に立つ」という言葉をご存じでしょうか。ニュートンが用いたことでも有名なメタファー、先人たちの業績の上に現代の新たな知見や学問の進展が生まれることを意味しています。松永ゼミは、そうした知見に富む卒業論文を書くために巨人の肩を目指して登っていくようなところです。ゼミで扱うのは政治、社会、国際関係といったテーマで、毎学期のはじめにゼミ生の関心を聞いてから先生が決定します。一昨年の秋は Historical Institutionalism(歴史的制度主義)、昨年はポピュリズムや極右政党の台頭(春)とその背景にある社会・政治的構造(秋)でした。毎週新しい文献を読むため課題量は少なくありませんが、専門的な英語にも少しずつ慣れていき、学期末には確かな成長を感じることができます。また古典から最新のものまで様々な社会科学の理論との出会い、問題設定や手法からの学びもたくさんあります。先生の解説を通してその分野に関する知識を得るだけでなく、文献の中でどのような論理展開が行われているか分析する力をつけられることも魅力です。広く政治や国際的な事象に興味を持つみなさん、ぜひ松永ゼミと一緒に巨人の肩の上からの景色を望んでみませんか？（中村響）

*サブゼミとは？

本学では、指導教員とは別の教員が担当するゼミを履修することも可能です。このことを、通称「サブゼミ」と呼んでいます。皆さんの先輩の実体験から、サブゼミの利用法を見てみましょう（なお、全てのゼミがサブゼミを開講しているわけではありません。サブゼミを履修する際には、必ずその担当教員と事前に相談しましょう）。

私は本ゼミとして松隈先生の国際法ゼミに所属しながら、武内先生の国際協力論ゼミにサブゼミとして参加していました。理由は自身の関心分野がサブゼミの該当分野と被っていたからでした。サブゼミに参加することのメリットは、同じ問題を異なった視点から考えることが出来る点だと思います。私の場合、卒論のテーマとして「ルワンダ・ジェノサイドにおける裁判所の役割」を選び、現在執筆準備中です。本ゼミの授業では国際法の観点から、サブゼミの授業ではより政治学的な観点からこの問題を見つめることが出来ていると思います。また、当然他の履修生の視点もゼミごとに異なっているのでより広範囲の視点から自分の考えをブラッシュアップする機会を得ることが出来ます。このことにより、同じ事象を二つの面から捉え、より深みのある卒業論文が書けるのではないかと期待しています。（福島黎）

地域研究は、隣接地域や遠く離れた別の社会を含めて考察する場合があります。そこで役に立つのが、本学の「サブゼミ制度」です。私は、伊東先生の北西ヨーロッパ地域研究ゼミ（本ゼミ）と大鳥先生の北アメリカ地域研究ゼミ（サブゼミ）に所属していました。なぜかという、イギリスの大西洋横断客船（例えばタイタニック号など）に興味があったためです。これらは英米を結ぶため、イギリス史に加えてアメリカ史も知る必要があると考え、サブゼミを履修しました。課題が増えるため苦労はありますが、私は英米の歴史を学ぶ中で、両者を融合させた「大西洋史」という学問を知りました。そこで、客船という独自の観点がこの分野で応用できると気が付き、卒業論文を執筆しました。このように、複数地域を学ぶことで新しい視点を得られるため、地域を超えた興味関心を持つ方には、ぜひサブゼミ制度を活用してほしいと思います。（小林朗大）

本ゼミとして現代世界論コースの真島一郎先生のゼミに所属する傍ら、アフリカ地域研究の大石高典先生のゼミをサブゼミとして参加しています。希望指導教員を検討した際、真島先生にするか大石先生にするか悩み、せっかくなら選択しなかった先生のゼミをサブゼミとして履修しようと思ったからです。

様々な興味を持つゼミ友たちと、それぞれの視点で世界の「夜」を検討する本ゼミの傍ら、自らの専門の文化人類学において重要となるフィールドワークを重視するサブゼミを受講することで、異なる視点からのアプローチ方法を学ぶことが出来ています。3年次の「ゼミ論」を本ゼミで執筆する際にも、サブゼミを通して多くの気づきを得ることが出来ました。ゼミ受講生の雰囲気もそれぞれで違うので、多くの仲間と出会えることもサブゼミを取ってよかったと思えることの一つです。マクロな視点とミクロな視点を得るために、別のコースのサブゼミ履修が良いと思います。（武藤幸）

6. 学部賞受賞者紹介

国際社会学部では、指導教員から推薦があったすぐれた卒業論文に対して国際社会学部賞が授与されます。2022年度の受賞者と論文タイトルを紹介します。本学の学生は、受賞論文および紹介動画（本人の承諾があったもののみ）をMoodle上で閲覧できます。また、過去の先輩たちの卒業論文タイトルは学部ホームページで見ることができます。

■ 地域社会研究コース

川嶋康子「ソヴィエト占領地域 / ドイツ民主共和国 (SBZ/DDR) における「移住民 Umsiedler」政策」（篠原琢ゼミ）
坂元響「脱コルセットを脱コルセットする」（藤井豪ゼミ）

杉田美夢 "Soybean Production and Related Health Problems among Farmers in Brazil: MixedMethod Research on Overweight and Obesity in the States of Pará and Mato Grosso"（舩方周一郎ゼミ）

田津真里恵「渋谷道頓堀劇場で形成される「まなざし」のありかた」（大石高典ゼミ）

萩原優太「イラクの隙間で生活するイスラーム国」（青山弘之ゼミ）

藤井里帆「戦争遺跡を通じた「地域の歴史」の継承に関する考察：白糸台掩体壕を事例として」（大鳥由香子ゼミ）

■ 現代世界論コース

井口利奈「パレスチナ問題が内包する可能性—岡真理の「分有」論を手がかりに—」（大川正彦ゼミ）

斎藤日向子「共通教科書が目指す歴史教育の課題と可能性—独邦共通教科書と独仏共通教科書の比較研究—」（小野寺拓也ゼミ）

佐藤美優「《母》という争点 - チリの母性主義社会政策と新自由主義 -」（真島一郎ゼミ）

藤井かのん「あやしみのレンズから：絵本『めっきらもつきら どおんどん』を手がかりに」（中山智香子ゼミ）

■ 国際関係コース

大塚聡士「輸出による技術伝播の実証分析」（田島陽一ゼミ）

田口裕望「学校教育におけるコンピテンシー育成に向けたテクノロジーの可能性—教育における AI 活用の是非に注目して—」（内山直子ゼミ）

宮下恭輔「国際法によるサイバー攻撃の規律可能性の検討 - サイバー空間における選挙干渉に対する内政不干涉原則の適用の検討を中心に -」（篠田英朗ゼミ）

前年度（2021 年度）受賞者の声

みなさま、ご入学おめでとうございます。

私は現在、証券会社に勤めていますが、この道を選ぶことができたのも国際社会学部のおかげだと思っています。イスラーム主義組織に関心があったため入学した私ですが、在学中に金融分野にも興味を持ちました。国際社会学部では、専攻地域の学びと社会科学分野の学びを並行して積み上げられます。入学当初の問題意識をテーマにして卒論を書き上げた一方で、金融に関しても学びを深められたのは、国際社会学部に在籍していたからこそできたことだと思います。（そして、その卒論で国際社会学部賞を受賞できたことを大変光栄に思います。改めてご指導くださった青山先生には感謝申し上げます。）国際社会学部で学べないことはありません。みなさまが知的好奇心の赴くままに、国際社会学部を歩まれることを祈念しております。

東 大晴（青山弘之ゼミ 21 年度卒）

大学から始めたスノーボードが面白い趣味になっております



私の卒論はフィンランドの領土拡張が主題でした。執筆中は入学時の専攻地域（北米）と異なる分野を扱う不安に苛まれ、自分の学識と表現力の限界に打ちひしがれる日々でした。しかし、適確にご指導くださった先生やゼミの学友等、周囲の方々に恵まれ、学部賞の栄に浴することができました。授与式では熱意が認められた感激と、その熱意に応えてくれた先生・学友への感謝の念に包まれたことを記憶しています。大学院に進学しなかった私にとってはまさしく有終の美です。外大は学生の意慾に応えてくれますから、新入生の皆さんも入学時の区分に囚われず、ぜひご自身の興味関心を追究してください。



余談ですが私は現在公務員として文書主義の世界で働き、根拠に基づき整合した文を書くという技能の重要性を骨身に染みて感じています。今思うと卒論執筆でこの技能が随分と磨かれた気がします。直向きに取り組むとこうして望外の恩恵がついてくるので、皆さんも大学で成したいことに全力で打ち込んでいただければと思います。

和島 左京（中山裕美ゼミ 21 年度卒）

ゼミの学友とは卒業後も折に触れ集まっている仲です。（和島：写真左端）

卒業論文が第 1 回国際社会学部賞に選ばれ、大変光栄に思います。論文では、未研究の漢文資料の翻訳を通して、イギリスでの反アヘン運動に中国知識人がどのように反応し、それが当時の中英関係にとってどのような影響を持ったかを考察しました。執筆作業の中でも、漢文資料が公開されていたオーストラリアのデジタルライブラリーのサイトを見ながら一文字ずつ漢字を書き写してデータ化する作業や、中国語の古文である漢文を読み解いて内容を分類するという作業は、非常に時間がかかりました。それでも根気強く執筆を進められたのは、自分が高校生のころから興味を持っていたアヘン戦争に関するテーマであったこと、そして適時適切にアドバイスくださった倉田先生のおかげです。卒業論文は長い間同じテーマを扱うので、テーマ設定が大事になってきます。新入生の皆さんが、様々な学習や経験を通して、自分の好きなものに巡り合えるよう、応援しています。

高橋 美桜（倉田ゼミ 21 年度卒）

7. 卒業後の進路

就職（2015 年度～ 2022 年度の主な就職先）

公務
外務省
防衛省(※自衛隊等含む)
国土交通省
警視庁
環境省
原子力規制庁
財務省
国立国会図書館
出入国在留管理庁／東京出入国在留管理局
東京都庁
青森県庁
静岡県庁
広島県庁
広島市役所
製造業
(株)ブリヂストン
(株)小松製作所
沖電気工業(株)
日本電気(株)(NEC)
富士電機(株)
(株)豊田自動織機
日産自動車(株)
トヨタ自動車(株)
ダイキン工業(株)
パナソニック(株)
スズキ(株)
本田技研工業(株)
富士通(株)
三菱電機(株)
富士フイルム(株)
(株)日立製作所
ENEOSホールディングス(旧 J X T G エネルギー(株))
(株)東芝
日本製鉄(株)
三井化学(株)
横河電機(株)
京セラ(株)
カシオ計算機(株)
住友電気工業(株)
三菱自動車工業(株)
矢崎総業(株)
日本アイ・ピー・エム(株)
いすゞ自動車(株)
川崎重工業(株)
東レ(株)
旭化成(株)
YKK(株)
JX 金属(株)
東邦亜鉛(株)
(株)ニデック
(株)日立ニコトランスミッション
(株)マキタ
白井国際産業(株)
大建工業(株)
学術研究、専門・技術サービス業
アクセントチュア(株)
アビームコンサルティング(株)
(株)アイデア・インスティテュート
デロイトトーマツコンサルティング(同)
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
(株)クニエ
森・濱田松本法律事務所

(株)セプテーニ・ホールディングス
(株)野村総合研究所
PwC コンサルティング合同会社
国立研究開発法人海洋研究開発機構
国立研究開発法人産業技術総合研究所
西村あさひ法律事務所
イグニッション・ポイント(株)
(株)電通
EY ストラテジー・アンド・コンサルティング(株)
GL ナビゲーション(株)
ZS Japan
(株)建設技研インターナショナル
(株)電通デジタル
(株)トリニファイ
(株)博報堂
(株)プロジェクトカンパニー
デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー(同)
トランスコスモス(株)
情報通信業
日本放送協会(NHK)
(社)共同通信社
日本オラクル(株)
(株)朝日新聞社
(株)日本経済新聞社
読売新聞グループ
(株)NTT データ
グーグル(同)
ソフトバンクグループ
日本ビジネスシステムズ(株)
(株)ワークスアプリケーションズ
楽天グループ(株)
日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)
Infosys Limited
UUUM(株)
エヌ・ティ・ティ・ビー・シー・コミュニケーションズ(株)
(株)blue
(株)ID ホールディングス
(株)NHK 出版
(株)TBS スパークル
(株)アクティス
東映(株)
金融業、保険業
(株)三井住友銀行
大和証券(株)
(株)みずほフィナンシャルグループ
(株)損害保険ジャパン日本興亜
東京海上日動火災保険(株)
SMBC 日興証券(株)
三井住友海上火災保険(株)
(株)ジェーシービー
明治安田生命保険(相)
三井住友信託銀行(株)
第一生命保険(株)
(株)三菱 UFJ 銀行
三菱 UFJ 信託銀行(株)
野村アセットマネジメント(株)
(株)日本貿易保険
アフラック生命保険(株)
日本生命保険(相)
卸売業、小売業
三菱商事(株)
住友商事(株)
三井物産(株)
丸紅(株)
伊藤忠商事(株)
伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
豊田通商(株)

双日プラネット(株)	(株)コンベンションリンケージ
(株)内田洋行	(株)リベロ
(株)ニトリ	日本生活協同組合連合会
豊田通商(株)	(株)ホスピタリティオペレーションズ
(株)良品計画	鉱業・採石業、砂利採取業
シークス(株)	国際石油開発帝石(株)
運輸業、郵便業	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構
東日本旅客鉄道(株)	電気・ガス・熱供給・水道業
日本通運(株)	電源開発(株)J-POWER
全日本空輸(株)	(株)JERA
日本航空(株)	東京ガス(株)
(株)商船三井	建設業
(株)二葉	JFE エンジニアリング(株)
(株)日立物流	日輝ホールディングス(株)
三菱倉庫(株)	住友林業(株)
郵船ロジスティクス(株)	生活関連サービス業、娯楽業
川崎汽船(株)	(株)JTБ
日本郵船(株)	(株)BUB
住友倉庫(株)	(株)アンジェラックス
日本郵便(株)	不動産業、物品賃貸業
サービス業	イオンモール(株)
(独)日本貿易振興機構(JETRO)	(株)サンケイビル
(独)国際交流基金	三井不動産レジデンシャル(株)
(株)パソナ	日本空港ビルデング(株)
(株)プリンスホテル	医療・福祉
アパグループ	日本年金機構
(独)国際協力機構(JICA)	(株)木下の介護
(株)Geekly	教育
パーソルキャリア(株)	国立大学法人東京大学
(株)KDDI エボルバ	(株)ベストコ
(株)LITALICO	(株)明光ネットワークジャパン
(株)アスパイアエックス	

大学院進学（2017年度～2022年度の主な進学先）

東京外国語大学大学院	慶應義塾大学大学院
一橋大学大学院	北海道大学大学院
東京大学大学院	東京芸術大学大学院
京都大学大学院	東京都立大学大学院
早稲田大学大学院	名古屋大学大学院
筑波大学大学院	神戸大学大学院

Welcome Messages ～私の進路～

嶋田 朋夏 さん
東アジア／中国語
現代世界論コース
真島ゼミ・4年生（22年度卒）
就職先：富士通株式会社

私はIT企業のマーケティング職に就きます。大学4年間、この進路とは一見関係のないものを学んできました。中国語に加え、もともと興味があったジェンダー関連の授業をいくつか履修し、ゼミ論・卒論は法とジェンダー観について執筆しました。ITやマーケティングに関する知識や資格がないため気後れしていましたが、面接で、ジェンダー学に関する知見や中国語を役立てられるとポジティブに評価していただきました。今までの学びを活かしつつ、新しいことに挑戦できる環境になるのではないかと感じています。また、そもそもITやマーケティングに興味をもったきっかけは、アルバイトや友人との日常にありました。就活をしている最中は悩むこともありましたが、大学生活のいろいろな部分からヒントをもらって、今の進路に決まったように思います。素晴らしい先生方と優秀で優しい友人たちとの出会いに感謝しています。どの瞬間も、どの経験も、何事にも代えがたいものになりました。皆様も、入学当初は不安もあるかと思いますが、したいことをして、しかし気負いすぎず、楽しいキャンパスライフを送ってください。実りのあるものになることを願っています。ご入学おめでとうございます！



友人との京都観光

岩元 さや さん
東アジア／中国語
地域社会研究コース
澤田ゼミ・4年生（22年度卒）
進学先：外務省専門職

東京外国語大学国際社会学部へ入学される皆さん、おめでとうございます！私は来年度4月より専門職員として外務省で勤務することとなりました。入省試験に向けて本格的に勉強を始めたのは学部3年生になってからですが、外交官という職業に関心を持つようになったのは、実は入学時にこの冊子で同じ進路を歩まれた先輩方のメッセージを読んだのが一つのきっかけでした。この大学では同じ志を持つ沢山の素敵な仲間恵まれ、就活期間中も互いに切磋琢磨し合いながら勉強し、ここまでたどり着くことができました。4年間の学業生活の中では、語学の勉強に最も多く時間を割いていたと思います。残念ながらコロナ禍の影響で中国への現地渡航を伴う留学は叶わず終いでしたが、オンライン留学という形で語学力を磨き、自分なりに専門性を身に付けることができました。きっとこれからの学部生活は十人十色で、楽しいことや大変なことが波乱万丈に待ち受けていることでしょう。外務専門職を将来の選択肢としてとる・とらないに関わらず、様々な場面で得る経験一つ一つが自分の養分、糧になると思います。入学生の皆さん1人1人が実りある時間を過ごすことを心から願っています。



外語祭期間の休暇を利用して訪れた沖縄の海辺にて

本学国際社会学部へのご入学おめでとうございます。
私はメキシコのイラプアトにある商社に就職しました。メキシコとの出会いは大学1年生の春に参加した短期留学でしたが、4年生の夏からの留学中に行ったインターンが現地就職を決意したきっかけです。会社という組織、自動車業界について学び



ながら、異なる文化的バックグラウンドを持つ人たちと一緒に仕事をするとはどのようなものなのか、実際に見て経験することができました。留学前から抱いていたスペイン語を使って仕事がしたいという漠然としたイメージが、インターンを通して具体化されたことで、新卒でメキシコ就職するという選択に至りました。就職後の今、身につけた語学力を活かして、幅広い分野の業務に携わり成長できる環境にいると感じています。大学生活では皆さんの興味のあることにどんどん挑戦し、ぜひ自分の目で確かめて経験してみてください。私にとって、パンデミック禍でメキシコ社会の動きや反応を現地でタイムリーに追うことができたのは貴重な経験でした。そして、たくさんの人との出会いを大切に、その中で与えられるチャンスをつかんでみてください。皆さんが得る学びや経験がきっと将来の選択に役立てられるはずです。

留学先の街のクリスマスツリー前にて

吉野 早紀 さん
ラテンアメリカ／スペイン語
国際関係コース

内山ゼミ・4年生（22年度卒）
就職先：SUN PHOENIX MÉXICO S.A DE C.V.
（日本本社：三洋貿易）

大和 凜 さん
東南アジア／ビルマ語
地域社会研究コース
菊池ゼミ・4年生（22年度卒）
進学先：京都大学

私は大学院に進学し、ミャンマーの企業について研究する予定です。
入学した当初は大学院への進学は考えていませんでしたが、大学で学んできたミャンマーと卒業後も関わり続けたいと考え、さまざまな選択肢から最終的に大学院を進路に選びました。私は出願の直前まで、大して優秀でない自分が大学院に進んで大丈夫なのかと不安に思っていました。この頃に大学院のウェブサイトを見ると、大学院は未完成の学生たちが自分の研究の完成度を上げていくためにあり、入学時点で完成している必要はまったくないと書かれており、この言葉が進学を決心する後押しになりました。卒業論文には今できる全力を尽くしましたが、それでも課題が多く残りました。大学院では学部での未完成な研究を完成に近づけていきます。自分の関心があることを探し、それを学び、集大成に卒業論文を執筆する間に東京外国語大学での4年間はあっという間に過ぎてしまいました。最初は十分に時間があると思っていましたが、怠惰に過ごしていたため結局足りなくなりました。この4年間でどれだけ貴重な時間だったのかを私は卒業の直前になってようやく実感しています。新入生の皆様には日々を楽しみながら大切に過ごしてほしいです。



1年生のときにショートビジットで初めて滞在したミャンマーで

8. 学生生活で困ったら

留学してみたいけど、どうしたらいいだろう……。就職のことも考えておいたほうがいいかな……。もっと英語を磨きたいな……。あるいは、ちょっと困ったな……。誰かに相談したいな……。そんな時に、大学には学生生活をサポートするさまざまな窓口があります。いつでも、遠慮なく相談してください。

A. TUFs アカデミック・サポート・センター（たふさぼ）☞日々の勉強に悩んだらまずココ（→ p.24-）

B. 保健管理センター（本部管理棟隣）☞不調を感じた時、ケガをした時に（→ p.27-）

C. 学生相談室 ☞こころの悩みがある時に（→ p.28-）

D. グローバル・キャリア・センター（研究講義棟 2 階）☞就活を全面バックアップ

E. 学習相談デスク（図書館 4F）☞大学院生から、学習上のアドバイスがもらえます

F. 留学支援共同利用センター（留学生日本語教育センター棟 1 階）

☞留学（ショートビジット、協定校、私費……）に関する情報収集、相談はこちら

G. 英語学習支援センター（ELC）（研究講義棟 3 階 304 室）☞英語学習をサポート

H. 学生課、教務課（本部管理棟 1F）☞学生生活や履修・成績関連一般はこちら

I. 個別の教員 ☞専攻言語や地域基礎など、よく会う教員に話してみようかな、というのもアリ

J. お助け隊 k-otasuke-tai@tufs.ac.jp ☞困ったのでとりあえず教員に相談したい！という時に

★緊急の相談 ☞犯罪、盗難等に関すること、経済的な問題など相談先が分からない場合など、緊急に相談したいことがある場合は、次のフォームでご連絡ください。相談内容やプライバシーに関わる秘密は厳守します。

TUFs110 連絡フォーム：<https://sanda.tufs.ac.jp/tufs110/form/>



1. アライバルコート
2. アゴラ・グローバル
3. 附属図書館 (E)
4. 本部管理棟 (H)
5. 中央広場・円形回廊
6. アジア・アフリカ言語文化研究所
7. 保健管理センター (B, C)
8. 学生会館
9. 研究講義棟 (A, D, G)
10. 留学生日本語教育センター (F)
11. 屋内運動場・課外活動施設
12. テニスコート
13. 運動場
14. 国際交流会館

～みなさんの大学時代の学びを支える場となることを願って～

ご入学おめでとうございます。大学生活が始まると、「いろいろ勉強してみたい！でも何から始めたらいいのだろうか？」、「自分の問題関心って、どうやってつくれるの？どうやって広げられるの？」、「問いを立てるって、レポートを書くって、どうすればいいの？」、「授業になんとかついていけない」、「入学前に思い描いていた大学生活と、全然違う…」など、戸惑い、不安、悩みをもつこともでてくるかと思います。

そんなとき、ぜひ、たふさぼを利用してください。

1. 教員・大学院生などからなるスタッフがみなさんの学修をサポートします

TUFS Academic Support Center (たふさぼ) では、TUFS Record (たふれこ)、学修活動履歴書、ディプロマ・サブリメントに関するサポート、履修に関する相談、学内の各種学修プログラムや特別授業の紹介を行っています。将来のために何に取り組むべきか迷ったとき、どうやって自分の興味関心を広げたらよいのか悩んだときなど、たふさぼを活用してください。

1-1. TUFS Record(たふれこ)

学内外の多様な学修活動を記録するシステム「TUFS Record」(たふれこ)は、自分自身を振り返って客観的に見つめ直すことがしやすくなり、課題が明確になるツールです。「TUFS Record」に登録された情報は、「学修活動履歴書」と「ディプロマ・サブリメント」の重要な情報源となります。

たふれこって何だろうと関心を持ってくださった方は、ぜひ、「TUFS Moodle」にアクセスしてみてください。マイコースから、「TUFS Record (〇〇年度入学者)」のコースに入っていただくと、たふれこが始まります。使い方動画もアップしていますので、ぜひ視聴ください。

自分で登録・編集できない情報は、指定の登録申請フォーム (Google フォーム) から届け出てください。毎年、みなさんが自主的に受験した外部試験結果 (英語と英語以外の言語) について、多数の届け出があります。

外部試験結果申請例：TOEIC、IELTS、TOEFL、ドイツ語 (ゲーテ・ドイツ語検定試験) やフランス語 (実用フランス語技能検定試験)、イタリア語 (実用イタリア語検定試験)、中国語 (HSK) など。

1-2. ミニ相談・学修相談

■たふさぼ窓口では、TUFS Record (たふれこ) に関する問い合わせや学習に関連するさまざまな相談を受け付けています。これらの質問や相談は「ミニ相談」として、教員や大学院生などからなるスタッフが対応します。事前予約不要です。お気軽にお越しください。

■履修の仕方 (自分の興味・関心と履修など) や卒論の書き方、ゼミ選択、転学部、転学、大学院進学など、時間をかけて相談したいことがある場合には、教務アドバイザー小林先生・金井先生の「学修相談」を予約してください。

■最新の予約方法などは、たふさぼ HP をご確認ください。

■2022 年度国社の学生さんからの相談例：履修の計画、ゼミ選択、留学と進路、卒論の進め方、休学期間の過ごし方、進級・卒業要件の確認、進級・卒業が見通せない、復学にあたって、転学部、転学、大学院進学など。



1-3. たふさぼ・おしゃべり会 (オンライン／対面開催)

■学生のみなさん同士がつながり、話せる機会を作り出たく、たふさぼ・おしゃべり会を開催しています。

■毎回 10 名程度の方が参加してくれていて、その時々トピックについて、たふさぼスタッフを交えておしゃべりをしています。

■学部やゼミ、学年をこえたゆるやかなつながりの中で、アイデアやひらめき、共感がうまれています。

■2023 年度も春学期より、おしゃべり会を企画しています。よかったらぜひご参加ください。企画のアイデアも絶賛募集中です！

2022 年度開催おしゃべり会一覧



2. たふさぽスタッフからみなさんへのメッセージ

教務アドバイザー

たふさぽの教務アドバイザーの小林幸江です。私は、2015 年から旧学生相談室、2020 年度から現たふさぽの相談員をしています。履修関係を中心に、いろいろな学生から相談を受けています。相談の中身はいろいろですので、相談してすべてが解決するわけではありません。しかし、相談することで、解決への糸口が見つかることも多いのではと感じています。

相談すると言っても、ただ話を聞いてもらうだけでよいという人、ちょっとの後押しで再び前に進んでいく人等、学生の相談の受け止め方はさまざまです。悩んだときは、第三者の考えを聞いてみるのもよい解決策です。コロナ禍で移動も人との接触も制限されています。そのような状況の中で、1 人思い悩むことなく、気軽にたふさぽに相談してください。

教務アドバイザー

こんにちは。教務アドバイザーの金井光太郎です。5 年前まで国社の教員でアメリカ地域を担当し政治史が専門でした。大人となって多様な出会い、交流、そして活動の場が大学です。でも今はコロナ禍での大学生活も 4 年目。限られた条件の下自分自身で積極的に活動する必要があります。自分自身に向き合い、自分の本当にやりたいことを見つめる。やりたいことに力を尽くす。それは疑問、悩みが尽きません。自分で頑張るのはもちろんですが、その際に人の意見も参考になります。基本的な情報から大きな進路の選択まで、自分の悩みもこれまで人が悩んできたことです。自分だけではないのです。それを知り自信を持ってやりたいことを目指して下さい。たふさぽでは、レポートや質問のしかたなど具体的なことから大学生活や将来のことまで皆さん自身の気づきを応援します。

たふさぽスタッフ（国際社会学部卒・博士前期課程 2 年）：

大学という場では、自分の興味関心や問題意識のあるテーマについて学ぶことができます。そして、自分自身の「問い」を見つけ、考え、自分自身と向き合うことになります。もしも、その途中で困難に直面したとしても、みなさんは一人ではありません。たったひとつの完璧な答えはないのです。たふさぽで一緒に考えましょう。

たふさぼスタッフ（国際社会学部卒・博士後期課程2年）：

大学生活では、様々な考えを持った人たちと出会い、やりたいと思ったことにチャレンジすることができ、この4年間はかけがえのない時間になるでしょう。一方で、初めて挑戦することで困難に直面するなど、悩むこともあります。授業や課題に関してだけでなく、学生生活の中で生じるちょっとした相談ごとや問い合わせでも、お気軽に「たふさぼ」にお立ち寄りください。「おしゃべり会」の開催も定期的を実施しております。

たふさぼ・センター長

たふさぼ・センター長の布川あゆみです。ご入学おめでとうございます。

例年春学期は、「履修の組み方がよく分からない」、「一人暮らしに慣れず、ゴールデンウィーク明けから授業に出れていない」、「レポートを書く時に文献の引用の仕方や文献リストの書き方が分からない」などの相談を多く受けています。これまで先輩たちがあゆんださまざまな「道」を参考に、みなさんそれぞれの「道」と一緒に考える場となることを願っています。ぜひぶらりとたふさぼに寄ってください（ヘッドセットを忘れてしまった、PCが壊れた、そんな時もたふさぼへ。一時貸し出ししています）。

スタッフ一同みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

3. たふさぼへのアクセス

場所：研究講義棟1階北側エントランス横

開室時間：月曜～金曜 10:00～15:00

（8月は閉室）

お問い合わせ先

TUFS Academic Support Center

住所：〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

電話：042-330-5885

メールアドレス：academic-support-center@tufts.ac.jp

たふさぼ HP: <http://www.tufts.ac.jp/institutions/facility/tufssupport/>



たふさぼ室内の様子



スタッフ渾身の入り口横 ホワイトボード・メッセージ



保健管理センター

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

保健管理センターは、本学学生の皆さんが健康で有意義な大学生活をすごせるように、またその健康を維持・増進できるように活動を行っており、皆さんの身・心の健康面を支援し、そのキャンパスライフの充実化を目指しています。

これからの大学生活で、フィジカル面やメンタル面で困っている時や健康・健康管理のことで悩んで相談したい時は、どうぞ保健管理センターに相談に来てください。

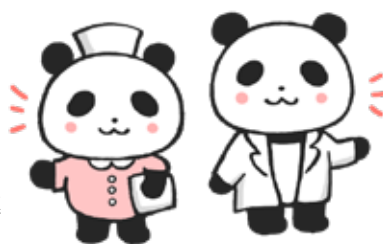
<保健管理センターでの相談>

身・心の健康上の不調や問題等について、相談できます。

①プライマリーケアとして、病気に罹った時やけがをした時等、学校医が診療し、看護師と共に援助します。必要時の処置や短期処方を含め、外部医療機関受診にむけ、紹介や受診案内を行います。

②メンタルヘルスケアとして、心身の体調不良や諸問題に関して、相談できます。必要に応じ、外部医療機関受診にむけ、紹介や受診案内を行います。

③ヘルスプロモーションとして、心身両面での広義の疾病予防と健康づくりを推進しています。



<定期健康診断>

入学時に健康診断を行い、また毎年4月に各学年で定期学生健康診断（日時限定：詳細はHP掲載）を行っています。その健康診断の結果に基づいて、健康状態の公式記録として、健康診断証明書を発行しています。在学中は体調管理のために、また留学・就職活動等色々な場面でも必要となるので、定期健康診断を毎年必ず受けて下さい。

<健康情報発信センター>

保健管理センターでは「ほけせん便り」を発信し、基礎的健康情報やアップデートな健康に関連する情報を提供しています。

また、5月と11月にアルコールパッチテスト（詳細はHP掲載）も行っていますので、飲酒（アルコール）に関する基礎的健康情報を確認しておきましょう。

保健管理センターの利用時間帯

医師の担当する「内科診療・相談」

曜日：月曜～水曜・金曜日（木曜・土日・休日を除く）

時間：午前10時～午前12時15分まで・午後1時30分～午後3時00分まで

看護師の担当する「応急処置・相談」

曜日：月曜～金曜日（土日・休日を除く）

時間：午前9時30分～午前12時15分まで・午後1時30分～午後4時00分まで

学校医（非常勤）の担当する「精神科相談」

曜日：火曜午後と木曜午後の月1回：予約が必要で、時間帯は予約時に確認。

予約受付は電話（042-330-5435）のみ可（メールでの予約受付は不可）

保健管理センターでできることは少いかもかもしれませんが、何か身・心にかかわる困りごとや悩みごとなどありましたら、どうぞ遠慮なく相談に来てください。



学生相談室

～心豊かで実りある学生生活を送るために～

忙しい日々のなかで、どうしたら元気に学び、心身ともに成長していけるでしょうか？

大学生活を送るうえで困りうることや、ストレスと上手に付き合う方法などをご紹介します。

1. 学生生活サイクル（鶴田，2001 より抜粋）

大学生活では、それぞれの時期に応じ、心理的な課題を持つと言われています。大学生は、「自分は何者なのか？」という問いを抱えながら、さまざまに試行錯誤する時期でもあります。うまくいくことも、いかないことも、上手に整理できたら将来の糧になってくれることでしょう。

	入学期（1年生）	中間期（2～3年生）	卒業期（4年生）
課題	新しい生活に慣れる 多くのことを自分で決める 大学のカリキュラムに慣れる、 関心領域を選ぶ 目標設定 新しい対人関係	自分らしさの探求 自分を見つめ、関心を絞る 将来の進路選択の準備 対人関係の深まりと広がり	将来への準備 卒業論文の完成 卒業による別れ 進路の決定
心理的特徴	入学したことについての気持ち の整理（達成感、戸惑い、違和 感など） 受験勉強から、自分の興味や関 心に沿った勉強への切り替え 現在の進路の受容	生活の管理（時間の過ごし方、食 事等） 自分らしい生活の展開 友人関係の問題 内的世界を豊かにする、それを言 葉にする力	進路決定にあたって内 面と現実の統合 経験を積み重ねる 現実生活を生き抜く 学生生活をまとめる

1年生はまず、新しい環境に慣れることから始めていきましょう。授業の取り方、シラバスの読み方、履修の組み方……いろいろ初めてのことばかりです。無理せず、わからないときは周囲の人や教職員に沢山質問しながら進めてみてください。専攻語のクラスや、部活動やサークル、アルバイト先にも頼れる人が見つかるかもしれません。

2年生、3年生は学内の人間関係を築きながら自分の学びを深めていく時期です。学内外で仲間を見つけられれば、大きな支えになるでしょう。指導教員を探してゼミを決め、そして進路を決めるために現実的に動いていき、4年生では卒業論文等で学びの総まとめをしていきます。

2. 大学生活の特徴

大学に入ると、高校までのように決められたカリキュラムはありません。「正解」以上に、自分で考え書くことが求められます。皆さんが何に興味があって、どんなふう考えるか、どうしたいか、「主体性」を求められる生活になります。一人暮らしの場合は家事もすることになるでしょう。アルバイトやサークルなど、皆が同じことをするわけではないので、スケジュールの管理が難しくなるかもしれません。

そんな時は、まず1日のスケジュール、1週間の生活を書き出してみましょう。①まず、やることリストを作ります。（例）「家事」ジャンルでやることは洗濯と買い出しと料理とお皿洗い。「勉強」ジャンルは授業の予習復習、課題。「部活」「アルバイト」……色々、まずは思いつくことを書き出します。そして、②それぞれにどのくらいの時間が必要かを書いていきます。③一週間の予定表（できれば24時間表記のもの）に、いつ何をするか書き入れていきます。あれ？はみ出しているぞ、なんてこともしょっちゅう起こります。優先順位をつけて、現実的にできる範囲のことをする習慣をつけていきましょう。

3. 「自分らしさ」を見つける旅

大学生は、社会の中でいったい自分は何者なのだろうか、という「アイデンティティ」(Erikson, E.H.) を探る時期にあると言われています。人からどう見られるのか気になる人も沢山いますし、やりたいことに挑戦する人、サークルの運営に取り組む人、勉強に励む人、読書に耽る人、色んなやり方があります。金子みすゞが言うように「みんなちがって、みんな

ない」時期なのです。焦らず、自分には何ができるかな、合っているのかな、ということを試してみてください。うまくいかないこと、失敗も、大きな財産です！頑張ってみて、それでも自分には向いていない、合わないことがわかったら、そこから離れて、自分にもっと合っているところ、居心地の良いほうに進んでいきましょう。

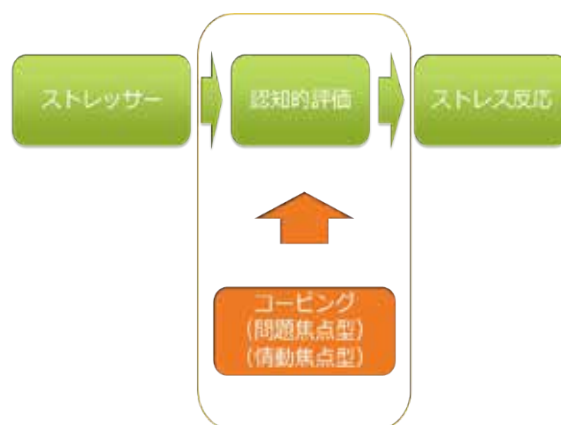
また、色々な事に取り組んだ時に、自分がどう感じたか、言葉にしておくことも自分を理解するのに役立ちます。日記をつけたり、家族や友人と話したりしたことを書き留めておくと、客観的に自分を見ることができるかもしれません♪

4. ストレス対処

日常生活にはストレスがつきものです。ストレスには、いろいろなものがあります。気温や気圧などの環境的な要因、病気などの身体的な要因、不安や悩みなどの心理的な要因、人間関係の変化などの社会的な要因など、ストレスを与えるものを「ストレスラー」と呼びます。

私たちは、ストレスがかかったときに、それを「評価」しています。そのストレスラーが自分にどんな影響を与えるか、そして、それを自分の力で統制できるかどうかです。そして、ストレスへの対処方法（コーピング）を選択します。

問題が起きたときに、問題状況そのものを変えて解決するのが「問題焦点型」のコーピングです。この型では、例えば難しい課題がストレスラーになっていたら、それについて調べたり、質問したり、話し合ったりして対処します。状況をどうしても変えられないときは、その場から離れる、逃げる……も必要になることがあります。



一方で、そのときの気持ちや気分に関心を当てるのが「情動焦点型」のコーピングです。沢山課題が出ていたとしても、ひとまずお茶を飲んでほっと一息つくことや、おしゃべりして気分転換することで、ストレスを和らげることができます。軽い運動、入浴、ストレッチやヨガ、瞑想などもストレスを軽減するのにとても役立ちます。

これらの対処方法は、いろいろな場面に対応するために、できるだけ沢山の方法を持っておくことが良いとされています。どのくらい対処方法を持っているでしょうか？ 10個……20個？ 100個くらいを目指して、どんどん増やしてみてくださいね！

<ほっと一息>

一人でいて落ち着かない時は、ゆっくりと呼吸してみましょう。1、2、3、4、5と5つカウントしながらゆっくりお腹を膨らませ、5つ止め、5つカウントしながらゆっくり吐きます。両手を身体の前でクロスさせ、右手を左肩に、左手を右肩に当てて、トントンとしながら同じように呼吸をしてみます。

深呼吸を繰り返しながら、楽しいこと、好きなものを思い浮かべてみてください。元気にしてくれた映画のシーン、犬や猫、海辺の景色、人……。

自分の体が椅子や地面にしっかり支えられていることを感じます。自分の周りの空間、上には空が広がっていることも感じていきましょう。少しずつ、落ち着いてきたら、その気分をゆっくりと味わってください。

自分なりのコーピングでうまく対処できないときに、私たちには様々な「ストレス反応」が現れます。お腹が痛くなったり、肩が凝って頭が痛くなったり・・・といった身体反応、気持ちがいらいらしてしまったり落ち込んだりする心理的な反応、ストレスがかかる場所や場面を避けてしまうなどの行動にも表れることがあります。そんなときに役立つのが「人の助けを借りる（援助希求）力」です。

5. 援助希求力を身に着けよう！

人に助けを借りることは、だれしも恥ずかしいと思う気持ちがあると思います。「こんなことで聞いていいのかなあ・・・？」しかし、困ったときに人に頼り、質問し、教えてもらうのも、あなたの持つ力です。聞くは一時の恥。自分の弱さ、失敗を認めながら、信頼できる人と次の一步を模索することは、とても勇気のいること。あなたを本当の成長に向かわせてくれるでしょう。



6. こんなことで困っていませんか？

得意不得意は人によって異なり、一見すると本来の力がわからないこともあります。理解はできているのに、咄嗟に言葉が出てこない、グループディスカッションで話せない、レポートを書こうとしてもなかなか考えがまとまらない、ということもあります。得意不得意は、その人の、また脳の情報処理上の個性です。例えば、耳で聴く情報は流れて消えてしまいがちですが、目で見ると文字情報などは残ります。読むほうがよく頭に入る人もいれば、話したり聞いたりするほうがわかりやすい人もいます。さらには、こつこつ準備するほうが楽な人もいれば、メ切が迫ってから一気に片づける人もいます。なんだかスムーズに勉強が進まない……他の人はすらすらできているのになぜ？と思うことがあったら、一度相談室まで気軽にお越しください。自分の特徴にあった学び方や、対処方法が見つかるかもしれません。

また、自分の身体の性別に違和感がある人もいます。まだ、女性でも男性でもないような、その間で揺れていることもあります。好きになった人が、いわゆる「異性」ではないこともあります。人を好きになるかたちも、色々です。自分や他人をステレオタイプに閉じ込めてしまったり、決めつけたりせずに、自分の今の気持ちと、目の前にいるその人を大切にしていきましょう。



時には、勉強や部活動などに頑張りすぎて疲れてしまい、気持ちが落ち込んでしまうことがあるかもしれません。将来が不安で落ち着かなくなったり……。経済的に苦労して、親や家族の介護をしながら受験勉強をして入学した人もいます。アルバイトを沢山しながら大学に通っている人もいます。

世間では「当たり前」と言われることも、意外と当たり前ではないことが、身近に沢山あるようです。普通のことを、普通に進めるというのは、実はとても大変ですし、もしあなたが今困らずに何事も進めていけているとしたら、それは実はとても稀で、素晴らしいことです。もし困ったら、身近な人、友人や家族、先生に気軽に相談してみてください。相談室にも気軽に立ち寄ってくださいね。

7. 「合理的配慮」とは

障がいを持った学生は、大学に合理的配慮申請を行うことができます。「障害者差別解消法」に基づき、困難を持つ学生が、主に授業の中で生じる社会的障壁を除去し、学習の機会を確保するために置かれた制度です。医療機関の診断書や障がいを示す書類とともに、その学期の履修修正期間までの間に教務課に申請書を提出し、審査が通ると、配慮を受けることができます。どんな場合にどのような配慮を受けることができるのか、気になる場合は学生相談室や保健管理センターにご相談ください。

*これは単位取得を保障する制度ではありません。あくまで、障がいに鑑みて合理的と判断され、大学にとって過重な負担にならない配慮を大学側がすることで、ご本人の学びを助ける制度です。

8. 「いのち」を守ろう

あまりに辛いことが続くと、視野が狭くなってしまい、「もう生きていてもいいことはない」「死んでしまった方が楽だ」と思ってしまうことがあります。これは誰にでも起こりうることです。

周囲の人にほんの少しだけできることがあります。「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」です。

命を守ることは、悩んでいる人に寄り添い、孤立や孤独を防ぐことから始まります。あなたの親しい人が、「あれ、いつもと違う」「様子がおかしいな」「死にたいと言っている」「自殺を試そうとする」などに気づいた時には、相手の話を否定せず、ひとまず耳を傾けてみましょう。聴き終えたら、「心配している」ことをゆっくり、わかりやすく伝え、どうしたらいいかを一緒に考えてみてください。自分だけでは解決できないと思ったら、臆せず専門家の助けを仰ぐようにしましょう。学生相談室と一緒に来ても良いですし、TUFS ころほっとラインに電話するなど、相談先は沢山あります（学生相談室のホームページを見てみてください）。本人がつながりやすいところにつなぎ、その後の様子を見守っててください。



ご本人の問題をあなたが解決しようとしなくて大丈夫です。周囲の人にできることには、必ず限界があります。ご本人が自分なりに取り組んでいくのを、理解者として温かく見守っていて下さいね。

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/gatekeeper/>

学生相談室とは

学生相談室にはカウンセラーの臨床心理士(常勤1名、非常勤4名)と受付のスタッフがいます。

基本的には対面(コロナの感染状況が悪化したときは電話やZoom)で、1回50分あるいは25分の相談です。臨床心理士はとても厳しい守秘義務を負っていますので、ご本人の許可がない限りは、たとえご家族や大学の教職員であっても、ご本人以外の誰かに相談内容を漏らすことはありません。専門的なメンタルケアから、その学期を無事に乗り切るための手助け、困ってちょっとお話を聞いてほしい時など、どんなことも親身に相談に乗ります。自分はどうやって生きたいのだろう、自分はどんな性格なのかな?と探求してみたい場合にも利用できます。



学生支援担当教員への相談

2022年7月から、各学部・大学院の学生支援担当教員への相談も学生相談室を通して申し込むことができるようになりました。授業や課外活動、行事等で困ったときには相談してみてください。こちらの相談は、必要に応じて学内で情報を共有しながら対応できますし、場合によっては事務職員も一緒にお話を伺うことができます。

TUFS ころほっとライン

2022年7月から、本学の学生専用の電話相談先ができました。今すぐに誰かと話したい、困っている……ときに気軽にご利用ください。電話相談は20分程度で、9時から22時の受付です。匿名での利用も可能です。

また、大学の外部で相談したい場合の対面での相談(年間5回まで)もありますので、ご活用ください。

https://www.tufs.ac.jp/documents/institutions/facility/sccs/sccs_220720_1.pdf

⇒ ⇒ ⇒ ⇒



学生相談室の相談の仕方

学生相談室 HP: <http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/sccs/>

受付窓口: 保健管理センター棟1階北口ドアより

開室時間: 月～金 10時～16時(12時30分～13時30分はお昼休み)

相談申し込み方法

★電話: 042-330-5560(受付直通)

★直接受付に行く

★Webから申込(大学のGoogleアカウントでログインが必要です)

<https://forms.gle/Vf32KSrBK5b5Gynm6>



申込フォームにアクセスしたら、まず、3つの種類の相談から1つを選択します。

1. 学生支援担当教員への相談
2. カウンセラーへの相談
3. ハラスメント相談室のカウンセラーへの相談

授業や課題活動、行事のなかで起きた人間関係の問題、困ったことについては1の教員への相談を選んでください。必要に応じて学内で連携して対応します。

自分の気持ちの整理や、性格や家族についての悩み、メンタルヘルスや障がいに関する相談は、2のカウンセラーへの相談を選んでください。こちらの相談は固く秘密を守ります。

教職員からのハラスメントに関する相談は、3を選んでください。ハラスメント相談室にお繋ぎします。

必要事項を記入して送信したら、受付から皆さんの大学のメールアドレスにご連絡しますので確認して下さい。



皆さんが元気に大学生活を送れるよう応援しています。
何かありましたら、いつでも気軽にご相談ください!



9. 国際社会学部 教員一覧

国際社会学部で専修プログラムの授業を担当している専任教員の一覧です（この一覧には卒論演習を担当していない教員も含まれています）。

地域社会研究コース			
教員名	専門分野	研究室	e-mail
青木 雅浩	モンゴル地域研究、中央アジア・東北アジア近現代史	826	masamon@tufs.ac.jp
青山 弘之	現代中東（西アジア・北アフリカ）の政治・思想・歴史	837	aljabal@tufs.ac.jp
足立 享祐	インド地域研究、歴史学（近現代史）、ヒンディー語	802	adachi.kyosuke@tufs.ac.jp
生駒 美樹	文化人類学、ミャンマー・東南アジア地域研究	660	ikoma_miki@tufs.ac.jp
伊東 剛史	イギリス近代史、人と動物の関係史、感情史	626	t.ito@tufs.ac.jp
大石 高典	生態人類学、アフリカ研究、狩猟採集民、森林と人間	506A	takanori@tufs.ac.jp
大鳥 由香子	北アメリカ地域研究、アメリカ近現代史、子どもの歴史	659	yukako.o@tufs.ac.jp
小田 なら	東南アジア地域研究、ベトナム現代史	514	naraoda@tufs.ac.jp
小田原 琳	イタリア近現代史、ジェンダー史	760	rodawara@tufs.ac.jp
川本 智史	中東地域研究（トルコ）、都市史・建築史	806	skawamoto@tufs.ac.jp
菊池 陽子	東南アジア近現代史、ラオス近現代史	639	kikuchiyoko@tufs.ac.jp
金 悠進	インドネシアを中心とした東南アジア地域研究	652	HP で確認してください
木村 暁	中央アジア史、中央アジア地域研究	834	s_kimura@tufs.ac.jp
日下 渉	フィリピンを中心とした東南アジア地域研究	637	kusaka@tufs.ac.jp
久米 順子	スペイン中世美術史、西洋美術史、文化史	726	kumejun@tufs.ac.jp
倉田 明子	中国・香港近現代史（社会史、キリスト教史）	853	akurata@tufs.ac.jp
坂井 真紀子	農村社会学、アフリカ地域研究、村落開発	720	sakai_makiko@tufs.ac.jp
澤田 ゆかり	中国（含む香港）に関する社会保障と労働問題	852	sawada@tufs.ac.jp
篠原 琢	中央ヨーロッパ近・現代史（18-20 世紀）	718	takus@tufs.ac.jp
鈴木 義一	現代ロシア地域研究、ソ連史、比較経済体制論	704	ysuzuki@tufs.ac.jp
芹生 尚子	近世フランス史、史学史	761	nseriu@tufs.ac.jp
左右田 直規	東南アジア近現代史、マレーシア政治社会史	601	soda@tufs.ac.jp
巽 由樹子	ロシア史、メディア研究	703	tatsumi@tufs.ac.jp
千葉 敏之	ヨーロッパ中世史、キリスト教史、歴史資料体学	649	t-chiba@tufs.ac.jp



友常 勉	日本思想史、日本近現代史、社会運動史、日本のマイノリティ	707	ttmotsune@tufts.ac.jp
登利谷 正人	アフガニスタン・パキスタン地域研究・近現代史	851	toriya@tufts.ac.jp
萩尾 生	バスク地域研究、言語社会学	728	shohagio@tufts.ac.jp
福嶋 千穂	近世ポーランド・リトアニア史、前近代のウクライナ	717	fsch@tufts.ac.jp
藤井 豪	朝鮮近現代史、韓国現代社会	857	nareh0810@tufts.ac.jp
ポーター ジョン	日本近世・近代史、都市社会史、民衆史、古文書学	522	jporter@tufts.ac.jp
舩方 周一郎	国際関係論、比較地域研究、ラテンアメリカ政治	618	s-masukata@tufts.ac.jp
宮田 敏之	東南アジア経済研究、タイ地域研究、タイ経済研究	531	tmiyata@tufts.ac.jp
山内 由理子	文化人類学、先住民研究、オセアニア地域研究	625	yuriko.yamanouchi@tufts.ac.jp
ルシオ デ ソウザ	近代ヨーロッパ - アジア関係	617	sousa.lucio@tufts.ac.jp

現代世界論コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
上原 こずえ	社会学、沖縄現代史、社会運動史	551	uehara@tufts.ac.jp
大川 正彦	政治学（原論・政治理論）、倫理学、いのち論	546	okawa@tufts.ac.jp
小野寺 拓也	ドイツ現代史、ナチズム論、日常史、感情史、男性史	647	tonodera@tufts.ac.jp
加藤 美帆	教育社会学、家族社会学、ジェンダーと教育	528	mihokato@tufts.ac.jp
竹田 恵子	ジェンダー／セクシュアリティ研究、社会学	518	HP で確認してください
田邊 佳美	国際社会学、フランス現代社会研究、移住研究、交差性	723	yoshimi.tanabe.i@tufts.ac.jp
東城 文柄	バングラデシュ地域研究、地理情報科学、環境保全論	506C	tojo.b21@tufts.ac.jp
中山 智香子	社会思想、経済思想、グローバルスタディーズ	504	nakac@tufts.ac.jp
蛭田 圭	政治哲学	517	kei.hiruta@tufts.ac.jp
古川 高子	近現代ヨーロッパ史、アルピニズム、自然の思想史	559	furukawa@tufts.ac.jp
真島 一郎	社会人類学、現代思想、西アフリカ民族誌	503	imajima@tufts.ac.jp
吉田 ゆり子	日本近世史、日本の文化財・地域社会の歴史	819	yoshida.yur@tufts.ac.jp
米谷 匡史	日本思想史・社会思想史、アジア論、植民地研究	820	yonetani@tufts.ac.jp
梁 英聖	レイシズム研究、資本主義と差別、在日朝鮮人差別	516	yongsong@tufts.ac.jp



国際関係コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
内山 直子	ラテンアメリカ地域研究、開発経済学	731	n.uchiyama@tufs.ac.jp
岡田 昭人	比較国際教育学、異文化コミュニケーション	532	aokada@tufs.ac.jp
片岡 真輝	国際関係、記憶、歴史認識、オセアニア政治	631	masaki_kataoka@tufs.ac.jp
菊地 和也	応用経済学、ゲーム理論	554	kkikuchi@tufs.ac.jp
篠田 英朗	平和構築、紛争解決、国際秩序論、国際協力、国際組織	505	hshinoda@tufs.ac.jp
鈴木 美弥子	民法、消費者法、環境法	555	mysuzuki@tufs.ac.jp
武内 進一	アフリカ研究、国際関係論、国際協力論	401E2; AA 研棟 611	shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp
田島 陽一	国際経済学、開発経済学、メキシコ経済論	556	tajima@tufs.ac.jp
出町 一恵	国際金融論、開発経済論	830C	k.demachi@tufs.ac.jp
中山 裕美	国際政治学、国際協調、地域統合、移民・難民問題	830A	yumi-nakayama@tufs.ac.jp
松隈 潤	国際法、国際機構論	550	jmatsukuma@tufs.ac.jp
松永 泰行	比較政治学、政治社会学（争議政治）、国際関係論	524	matsunaga@tufs.ac.jp
吉崎 知典	国際政治、安全保障、国連平和維持活動（PKO）	501	tomoyoshizaki@tufs.ac.jp
若松 邦弘	比較政治（西欧）、福祉・移民・環境など社会争点政治	661	kwakamat@tufs.ac.jp

Welcome Messages

大川 正彦 先生
現代世界論コース

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

40年ほど前に大学新入生になった自分にもむけて、みなさん（のなかの誰か）に、新生に向けたことばを。

もうすでに一歩踏み出したのだから、新しい人生を歩みつづけてみたらいい。どうしてもあわなかったら、そのときはそのとき。やり直せばいい。不貞腐れていても、どうにもならんよね。一年は365日、12か月。あんまり遠い先のこと、将来のことなんか考えすぎたりせずに、一日ごと、一週ごと、ひと月ごと、焦らず弛まず、歩きつづけて、景色が変わるのを楽しんでみる。人間は考える足「ママ」である。

キャンパスのどこかに、ひとりだけでいられる素敵な場所を見つけることができるかも。疲れたとき、何もかもが嫌になったとき、ホームに直帰できなければ、隠れ家でじっとしている。図書館のなか、研究講義棟のどこかの階の止まり木で、……。

じぶんなりのテリトリーづくりがうまくできて余裕があったら、「共生を考える授業」リストを手にとってみる。面白そうな授業があったら、担当教員に連絡をとり、オフィスアワーに訪ねてみたら、どうだろう。珈琲でも淹れてもらって。そして、その愉しさをわかちあえる学友＝ツレに出会えたら、ちょっとだけいいかも。Easy does it!



さて、ここはどこでしょう？ とても静かです

10. よくある質問コーナー

外大新入生版

Q1. 入学前に ICC アカウントとパスワードが配布されたそうですが、受け取っていません。どうすればよいですか？

A1. ICC アカウント取得に関するお知らせは、入学手続きの際に住所等と一緒にウェブページに入力されたメールアドレス宛に送られています。もう一度確認してみてください。

メールを受け取っていない / 紛失した場合は、東京外国語大学総合情報コラボレーションセンター（ICC センター）に連絡してください。 E-mail: icc-service@tufs.ac.jp

Q2. オンライン授業で、Zoom に ICC アカウントのメールアドレスとパスワードでログインしようとしたのですが、できませんでした。どうすればいいですか？

A2. Zoom のアカウントは、Zoom のアプリやサイトで自分で個別に作る必要があります。その際に、大学のメールアドレスをアカウント名にしてください。

こちらの動画も参考にしてください。 <https://youtu.be/yR9OICJ3tzA>

それでもうまくいかない場合は、教務課窓口で聞いてみましょう。



Q3. 春学期の GLIP 科目の履修や登録方法について質問があります。どこに連絡すればいいですか？

A3. GLIP テスクに問い合わせてください

GLIP テスク（研究講義棟 412 教室） E-mail: glip@tufs.ac.jp Tel: 042-330-5366

Q4. 春学期は何コマくらい履修すればいいですか？

A4. **12-15 コマ**をおススメします。必修科目、進級要件科目を中心にまず時間割を組み、そこに教養科目を足していく、というイメージが良いと思います。

Q5. 授業をどうしても欠席しないといけません。どんな手続きが必要ですか？

A5. 欠席には公欠になるものとならないものがあります。履修案内 p.13- をよく読み、必要な手続きをしてください。

Q6. 履修している科目の担当の先生に連絡したいことがあります。メールアドレスが分からないのですが、どうすればいいですか？

A6. 大学ホームページの「研究者一覧」には外大所属の教員が全員載っています。

ここに目指す先生がいるか、その先生のページにメールアドレスが書いてあるか、確認しましょう。

<http://www.tufs.ac.jp/research/researcher/people/index.html>



Q7. 確認しましたが、そこには先生の名前（メールアドレス）がありませんでした。どうしたらいいですか？

A7. 非常勤の先生については、個人情報の観点から情報は公開されていません。授業時間中に連絡を取ることを優先してください。緊急の場合は教務課に相談してください。また、下記の科目群については、それぞれ担当の専任教員にも相談してみてください。

専攻言語・地域基礎の場合→専攻言語代表教員・地域代表教員 } 「2023 年度時間割検索ガイドブック」 p.8
教養外国語の場合→教養外国語担当教員
GLIP 科目の場合→ GLIP テスク（→ A3.）

Q8. この Q & A では私の問題は解決しません！ どうすればいいですか？

A8. ⇨ k-otasuke-tai@tufs.ac.jp にメールください！ 国際社会学部お助け隊（学部執行部の教員）が一緒に考えます。



2023 年度 国際社会学部 学部運営体制

学部長	千葉 敏之
副学部長	加藤 美帆

地域社会研究コース コース長	宮田 敏之
現代世界論コース コース長	大川 正彦
国際関係コース コース長	篠田 英朗

学部長補佐（入試担当）	小野寺 拓也
学部長補佐（教務：カリキュラム担当）	倉田 明子
学部長補佐（教務：ゼミ選択／学生担当）	中山 裕美
学部長補佐（広報・点検評価担当）	伊東 剛史

地域代表教員

北西ヨーロッパ	伊東 剛史
中央ヨーロッパ	春学期：小野寺 拓也 秋学期：福嶋 千穂
西南ヨーロッパ	小田原 琳
イベリア	久米 順子
ロシア	巽 由樹子
中央アジア	木村 暁
東アジア	藤井 豪
北アメリカ	大鳥 由香子
ラテンアメリカ	内山 直子
アフリカ	大石 尚典
オセアニア	山内 由理子
東南アジア	宮田 敏之
南アジア	東城 文柄
中東	青山 弘之

※作成にあたって TUFs Academic Support Center、保健管理センター、学生相談室のご協力をいただきました

東京外国語大学 国際社会学部の歩き方

2023 年度入学生版

2023 年 3 月発行

東京外国語大学 国際社会学部

表紙デザイン：小林 壘

（現代世界論コース ラテンアメリカ／スペイン語 3 年生）※学年は発行時